LDAC-SP

Rider's Spirit & Racing Scene

取扱説明書

株式会社 北越電研

安全にご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ず最後までお読み下さい。
その後、この取扱説明書を大切に保管し、必要なときに繰り返しお読み下さい。

安全にご利用いだだくために

以降、特別な表記がない限り、本製品とは次の製品を示します。

- コントロールBOX
- 卓上操作器
- リモートコントロールBOX
- ゲートセンサ
- 通過センサ
- チャンネルチェッカー
- バッテリチェッカー
- 充電保管器
- 発信器

〇分解、改造しないで下さい。

・本製品を分解したり、部品交換等の改造したりしますと思わぬ故障や事故の原因となります。

〇火の中に投入したり、加熱しないで下さい。

・本製品を火の中に投入したり、加熱をすると、破裂する危険があります。

〇衝撃を与えないで下さい。

・本製品は精密機器ですので衝撃を与えないで下さい。故障や事故の原因となります。

〇使用中の異常にご注意下さい。

・本製品を使用中に異音、異臭、異常な発熱をしたり、その他異常を感じたときはすぐに使用を止めて下さい。

〇危険防止のため、設置に十分注意して下さい。

・本製品のケーブル接続は必ず専用のケーブルを用い、決められた取り付け方法で取り付けて下さい。不安定な接続は、故障や異常な動作の原因となります。

・ケーブル類を取り付け、取り外しは、電源スイッチを切って下さい。
通電中にケーブルの着脱をしますと、火花を発したり誤動作や機器の破損の恐れがあります。

・電源、通信ケーブル等に手や足等が、引っかからないように考慮下さい。
ケーブル等に引っかかりますと、機器の破損だけでなく転倒者の負傷も予想されます。

〇発信器の取り扱いに注意して下さい。

・発信器の充電には専用の充電保管器を使用して下さい。
発信器の専用充電保管器以外での充電は、過電流による回路の破壊や蓄電池の発熱、破裂の危険があります。

・発信器の充電量が低下したときは、放置せず充電保管器に収納し充電を行って下さい。欠測の原因となります。

・発信器を使用していないときは、速やかに充電保管器に収納し充電を行って下さい。
使用後発信器を放置しますと、過放電などで蓄電池の漏液、充電時に発熱の原因となります。

・発信器を寒い戸外や、冷えたまま(0℃以下)で充電しないで下さい。
蓄電池の性能や寿命を低下させる原因となります。

・発信器をコントロールゲート付近に放置しますと、レース中の発信器と干渉し、欠測の原因となります。

・発信器に、燃料油や排気、エンジン洗浄用クリーナがかかると発信器がもろくなり、摩耗や破損しやすくなります。

〇電池の取り替えに注意して下さい。

・チャンネルチェッカーとバッテリーチェッカーには、動作用の乾電池が必要です。
乾電池を取り替える際に、種類と取り付け方向を間違えないよう注意して下さい。

LDAC-SP 取扱説明書 目次

1. 主な仕様

①計測車両スピード最高時速350km/h
②同時レース中での判別チャンネル数250チャンネル
③計時表示精度1/1000秒
④計時測定精度±1/1000秒
⑤コース幅各コース幅に対応致します
⑥ピットコース幅各ピットコース幅に対応致します
⑦発信器動作時間8時間（満充電時）
⑧最大表示時間9時間59分59秒999
⑨最大計時時間99時間59分59秒999

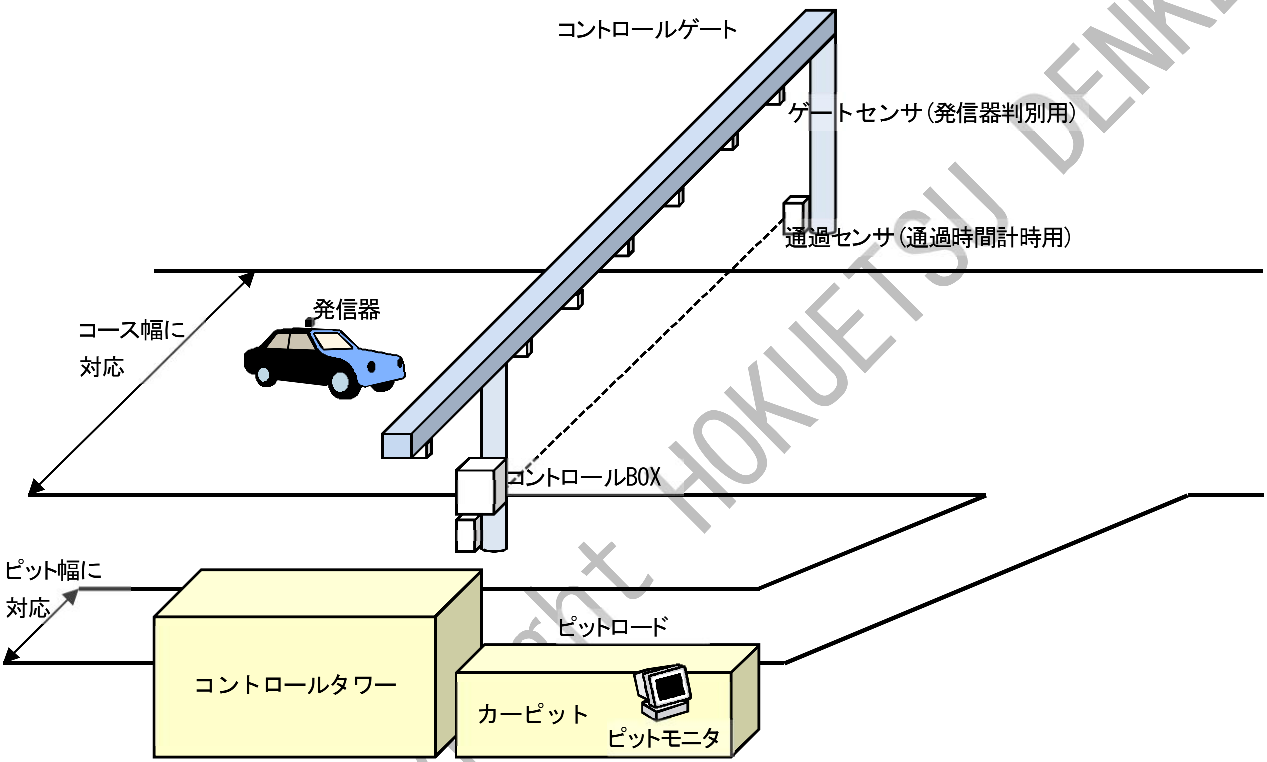


図1.1 システム概略図

2. システムの機器構成

2.1 概要

LDAC-SPシステム構成の概要を以下にまとめます。

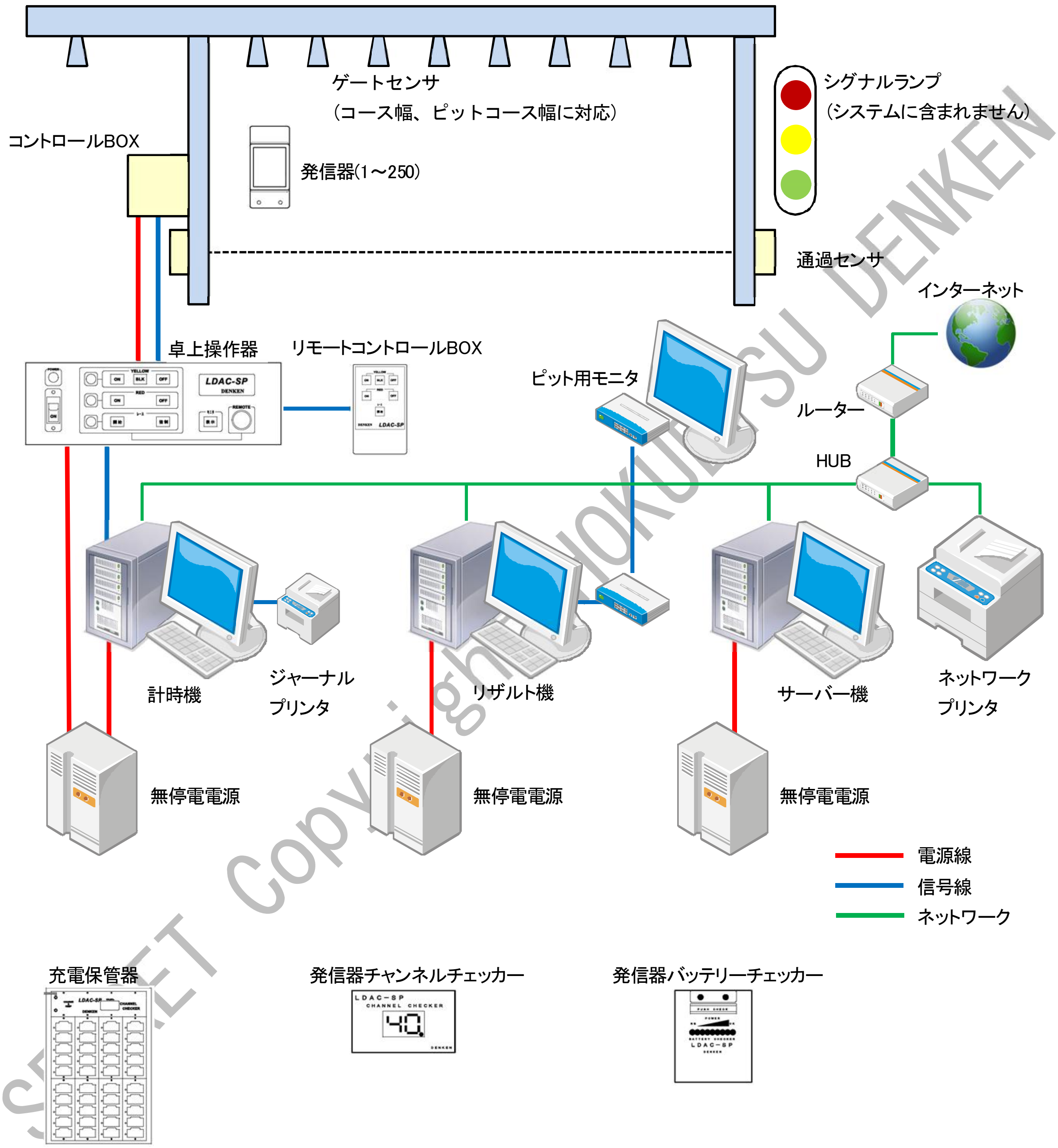


図2.1 機器構成図

図中のコントロールゲートとシグナルランプは本システムには含まれません。

2.2 各計測機器の説明

(1) 発信器

車両識別に赤外線を用いた発信器です。

①コントロールゲート下を通過する車両の識別を行うため、各車両に発信器を取り付けます。

②発信器の識別は、1～250番まで行います。

③各発信器には、発信器No.が判るように、番号シールが貼ってあります。シールを剥がさないようにして下さい。

④取り付けには、専用のホルダーを使用して発光部が上にくるよう車両に、テープ(ガムテープ等)で取り付けます。

⑤地面と平行になるよう取り付けて下さい。

⑥発信器の保管と充電には、専用の充電保管器を使用して下さい。

⑦発信器の充電端子及びケースが汚れていたら、柔らかい布等できれいに拭いて、充電を行って下さい。

⑧充電不足になると、欠測の原因となりますので、計時に使用する場合は、十分充電された発信器を使用して下さい。

⑨満充電で約8時間使用できます。

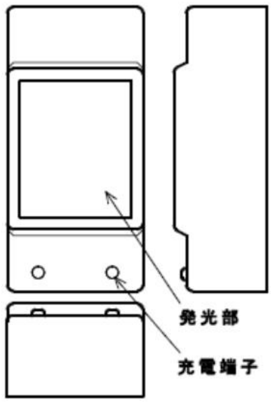


図2.2 発信器

(2) ゲートセンサ

車両に取り付けられた発信器の信号を受信するための受光装置です。

①コントロールゲートの下に複数個取り付けます。

②取り付けは、地面と平行になるように取り付けます。

③各コース毎のコース幅に応じ設置します。

④コントロールBOXと接続を行います。

⑤計時プログラムでピットゲートに取り付けられている、ゲートセンサの番号を指定します。

上記は設置導入時に、取り付け及び設定を行いますので、変更等の必要はありません。

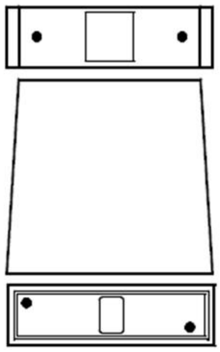


図2.3 ゲートセンサ

(3) 通過センサ

車両の通過時間の計測を行うため、コントロールゲートの両端付近へ設置し、このセンサの光軸上の光を遮ることで通過時間を計測します。

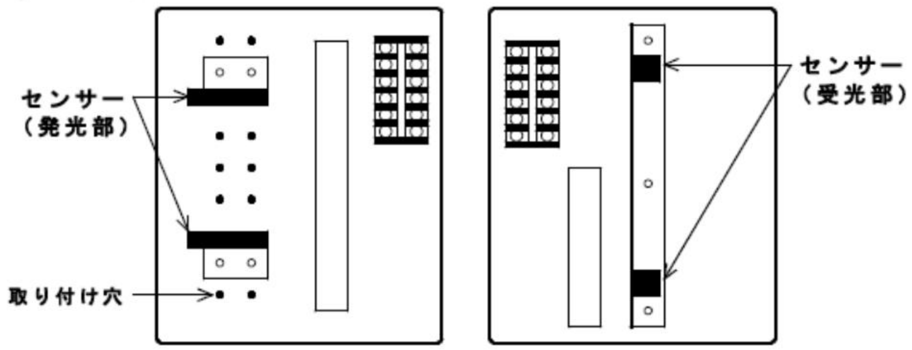


図2.4 通過センサ（左発光側、右受光側）

①コントロールゲートのゲートセンサと通過センサの取り付け位置が離れていた場合、計時のシステム設定にて、感知ディレイ時間に最適な数値を設定して下さい。

②コントロールBOXと接続を行います。

③発光側と受光側でそれぞれ、通過センサの高さ調整が自由に行えます。
高さを調整する場合、光軸が狂わないように調整して下さい。光軸が狂ってしまうとレースが開始できなくなったり、通過したタイムが正確に計測できなくなる可能性があります。

④通過センサを2個使用し、どちらか一方を遮光した場合に通過したと認識します。
⑤センサBOXのアクリル部分が汚れていますと、レースが開始できなくなったり、通過したタイムが正確に計測できなくなる可能性がありますので、柔らかい布等でアクリルを傷つけないようにきれいに拭いて下さい。

上記①～③は設置導入時に、取り付け及び調整を行いますので、変更等の必要はありませんが、導入後、上記③の高さ変更（調整）を行う場合には、十分な注意が必要です。

(4) コントロールBOX

コントロールBOXはゲートセンサと通過センサを制御し、通過車両の識別と通過時間の計測を行います。

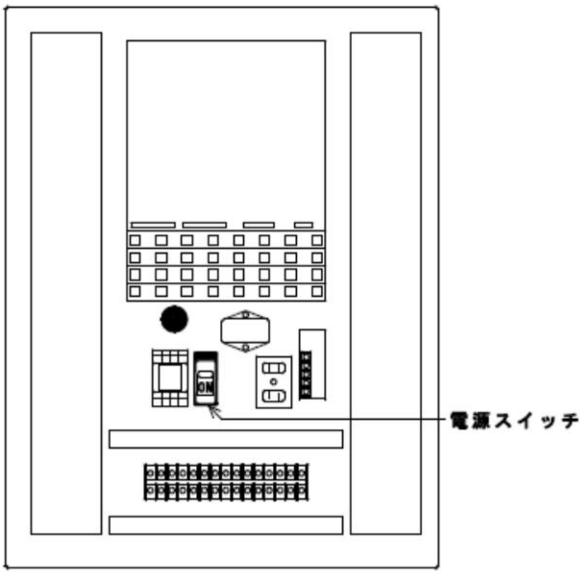


図2.5 コントロールBOX

①別置したコンピュータ(計時機)と通信接続を行い、通過車両の情報を送信します。
②通信エラーが発生し、レース(フリー走行)やセンサチェックができない場合には、コントロールBOXを開け、電源スイッチがONになっているかを確認して下さい。
③必ず、コントロールBOXは鍵をかけて下さい。

(5) 卓上操作器

卓上操作器は、シグナルランプ、レースの開始、リモートコントロールBOXを制御します。

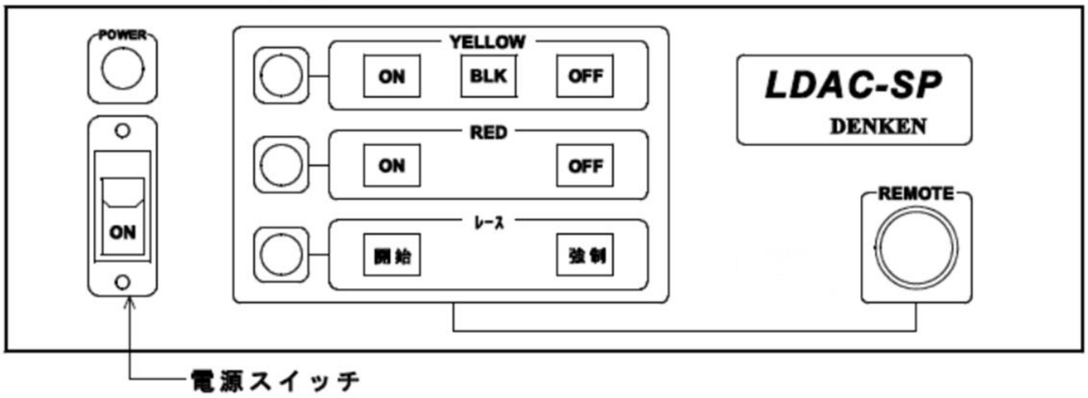


図2.6 卓上操作器

■電源について

①卓上操作器の電源は、無停電電源と商用電源の2種類(共にAC100V)を使用します。
卓上操作器を介して、2種類の電源がコントロールBOXに供給されます。
②無停電電源は、表パネルの電源スイッチをONすることで、卓上操作器内部の回路が有効となり、シグナルランプ等の制御が可能となります。
③商用電源は、裏パネルの電源スイッチをONすることで、信号機のAC100V系に電源が供給されます。

■レースの開始について

①レースは、【開始】スイッチで開始します。

【開始】スイッチは、図6.8のヒート情報画面や図6.15のフリー走行情報画面が表示されている時に押すとレース(計時)が開始され、シグナルランプの青が点灯します。青はレース終了まで点灯します。

レース開始時にシグナルランプの赤が点灯していた場合は、赤を消灯してから、青が点灯します。

②【開始】スイッチを押さず、計時プログラムの【開始】をクリックしてもレースは開始できます。

■シグナルランプについて

①シグナルランプは、赤(RED)と黄(YELLOW)を制御できます。

②赤は、レース中以外で点灯が可能です。

RED欄の【ON】スイッチを押すとシグナルランプの赤が点灯(保持)し、【OFF】スイッチを押すと消灯します。

③黄は常時、点灯、点滅が可能です。

YELLOW欄の【ON】スイッチを押すとシグナルランプの黄が点灯(保持)し、【BLK】スイッチを押すと点滅(保持)を行い、【OFF】スイッチを押すと消灯します。

④レースの欄の【強制】スイッチは、シグナルランプの青を強制的に点灯させるボタンです。

【強制】スイッチが消灯している状態で、1度スイッチを押すとシグナルランプの青とスイッチが点灯し、再度スイッチを押すと、青ランプとスイッチが消灯します。

但し、レース中は青ランプは消えません。

また、青ランプ強制点灯前に赤ランプが点灯していた場合は、赤ランプが消灯してから、青ランプが点灯します。

■REMOTEコネクタについて

①REMOTEコネクタには、リモートコントロールBOXを接続します。

■その他の配線ついて

①コンピュータ(計時機)と入出力ケーブルで接続されています。ケーブルがはずれていた場合、卓上操作器とリモートコントロールBOXでのレースの開始はできません。

(6) リモートコントロールBOX

卓上操作器のREMOTEコネクタに接続して使用します。

各スイッチの使用方法は、卓上操作器と同じです。卓上操作器の使用方法を参照して下さい。

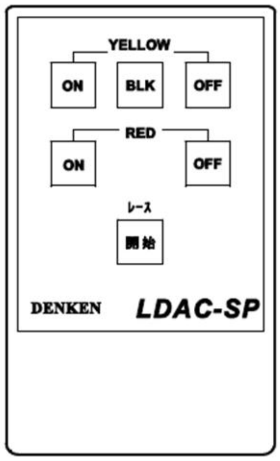


図2.7 リモートコントロールBOX

(7) 充電保管器

充電保管器に発信器を入れる事により、発信器の充電と発信の停止を自動的に行います。

1台の充電保管器で、発信器40個を充電保管し、チャンネルチェッカー機能も内蔵しています。

発信器をこの保管器に入れない場合、発信器から常時信号が発信されているため、信号の干渉等の原因となりますので、必ずこの保管器に入れて下さい。

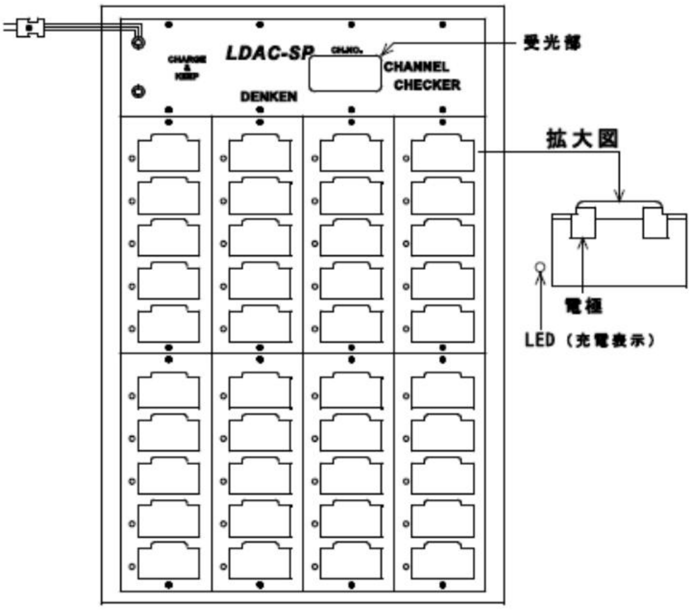


図2.8 充電保管器

①電源には、AC100Vを使用します。
②発信器は充電端子側を下にして、充電端子が充電保管器の電極に当たるように、最後まで確実に差し込みます。
充電保管器の電極が汚れていた場合は電源をOFFして、綿棒等できれいに拭いてから保管を行って下さい。
但し、電極が折れてしまうことがありますので、拭くときにあまり力を入れないようにして下さい。
③電源に接続され、発信器を充電保管器に保管すると左横のLEDが点灯します。
もし、発信器を差し込んでもLEDが点灯しない場合、発信器の故障が考えられます。
④チャンネルチェッカーの使用方法は、充電保管器の電源を入れて、充電保管器の受光部の真上から30〜50cm程度、発信器を離して発信させることにより行います。
CH.No.の下に、発信器No.が表示されます。
⑤チャンネルチェッカーを使用する場合は、必ず1個づつ発信器のチェックを行って下さい。2個以上同時に発信器をチェックしようとした場合、お互いの発信器の信号が干渉し、チェックを行うことはできません。
⑥充電の目安として、8時間使用後は16時間以上、12時間以上の使用後は24時間以上の充電を行って下さい。

(8) チャンネルチェッカー

発信器の発信動作を確認するハンディータイプのチェッカーです。
発信器を競技者に配る時やグリッドに車両が整列した時などで、使用して下さい。

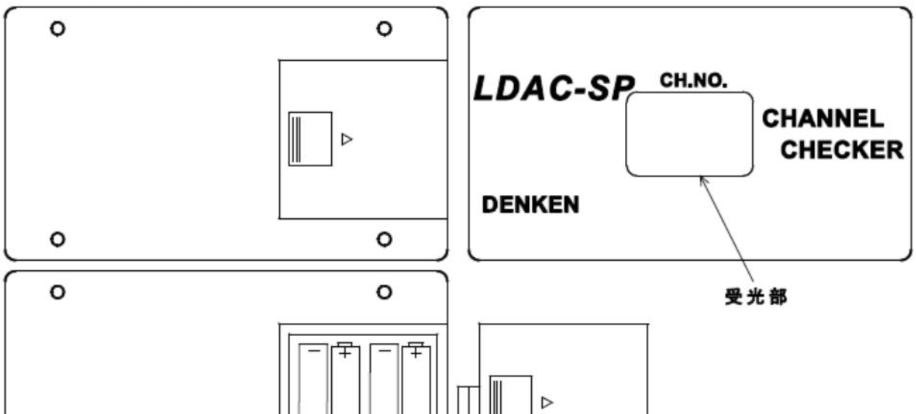


図2.9 チャンネルチェッカー

①チャンネルチェッカーの側面に電源スイッチがありますので、スイッチをONします。
使用後は、電源スイッチをOFFして下さい。

②チャンネルチェッカーの受光部から30～50cm程度、発信器を離して発信させることにより行います。CH.No.の下に、発信器No.が表示されます。
③チャンネルチェッカーを使用する場合は、必ず1個づつ発信器のチェックを行って下さい。2個以上同時に発信器をチェックしようとした場合、お互いの発信器の信号が干渉し、チェックを行うことはできません。
④チャンネルチェッカーの電源には、乾電池(単三)を4本使用しています。
乾電池がなくなったら(CH.No.に000.と表示されたら)、裏面のフタを矢印の方向に引いて開け、新しい乾電池と交換を行って下さい。
⑤乾電池交換時、極性(＋、－)を間違えないように交換を行って下さい。

(9) バッテリーチェッカー

発信器の充電状況を確認するハンディータイプのチェッカーです。
発信器を競技者に配るときなどで使用して下さい。

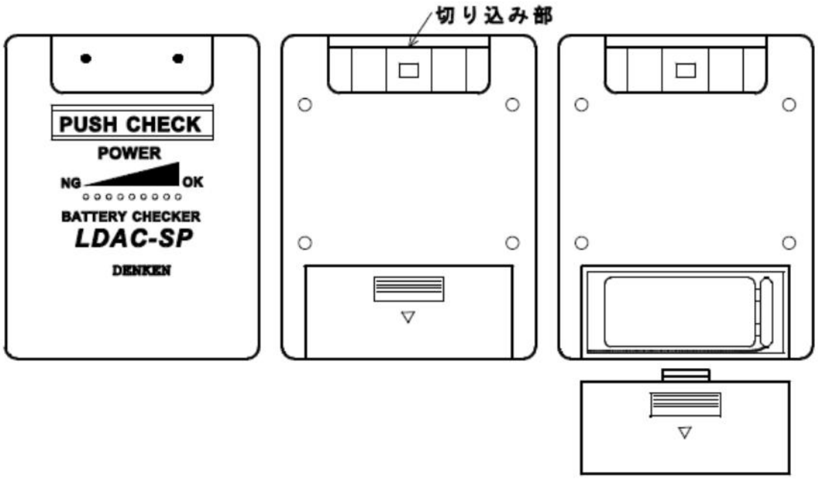


図2.10 バッテリーチェッカー

①バッテリーチェッカー裏面の切り込み部に、発信器の充電端子側を押し当てます。
②バッテリーチェッカー表面のLEDに発信器内部の蓄電池の充電量が表示されます。
緑色のLEDが表示されている間は使用可能です。
緑色のLEDが消えて、橙色のLEDが点灯したら充電が必要となります。
発信器の使用をやめて、充電保管器に入れて充電を行って下さい。
③バッテリーチェッカーの電源には、乾電池(006Pタイプ)を使用しています。
乾電池がなくなったら、裏面のフタを矢印の方向に引いて開け、新しい乾電池と交換を行って下さい。
発信器が十分に充電されいるのに、LEDが全点灯しない場合に乾電池の交換が必要となります。
④乾電池交換時、極性(＋、－)を間違えないように交換を行って下さい。

2.3 コンピュータ機器の説明

(1) サーバーコンピュータ (サーバー機)

ネットワークの中心となるコンピュータで、大会情報、レース結果をこのコンピュータで集中管理します。

(2) クライアントコンピュータ (計時機、リザルト機)

このコンピュータで大会や競技者の情報入力、レースの時間測定、レース結果の集計・編集などを行います。

(3) ジャーナルプリンタ

レース中の車両通過情報の逐次印刷を行います。
計時用クライアントコンピュータと接続します。
用紙は感熱ロール紙を使用して下さい。幅80mm、直径80mm、印字面表側。

(4) ネットワークプリンタ

大会情報や競技者情報、レースのリザルト等の非計時処理時の印字を行うための装置です。
ネットワークに接続されている、どのクライアントからでもこのネットワークプリンタに印刷が可能です。

(5) 無停電電源装置

不慮の停電に供え、コンピュータとコントロールBOX等の電源をこの無停電電源装置でバックアップします。

LDAC-SPシステムで使用できるパソコン環境は次の通りです。
メモリ　:4GB以上
OS　:Microsoft Windows 7 Professional 32bit版
LDC　:解像度1366×768ドット以上 (16:9)

3. システムの電源

3.1 電源投入

(1) サーバー機の電源投入

①サーバー機用無停電電源の電源スイッチをONにします。
②無停電電源の表示が『On』になったことを確認してからサーバー機の電源スイッチをONにします。
③サーバー機用ディスプレイの電源をONにします。
　ログオン画面が表示されますが、ログオンの必要はありません。
④ネットワークプリンタの電源をONにします。

(2) リザルト機の電源投入

①リザルト機用無停電電源の電源スイッチをONにします。
②無停電電源の表示が『On』になったことを確認してからリザルト機の電源スイッチをONにします。
③リザルト機用ディスプレイの電源をONにします。

(3) 計時機の電源投入

①計時機用無停電電源の電源スイッチをONにします。
②無停電電源の表示が『On』になったことを確認してから計時機の電源スイッチをONにします。
③計時機用ディスプレイの電源をONにします。
④卓上操作器の電源をONにします。

リザルト機、計時機の順番は逆でも構いません。

3.2 電源遮断

(1) 計時機の電源遮断

①卓上操作器の電源をOFFにします。
②Windowsのスタートメニューからシャットダウンを選択し、実行します。
③計時機用ディスプレイの電源をOFFにします。
④計時機の電源が遮断されたことを確認してから計時機用無停電電源の電源スイッチをOFFにします。

(2) リザルト機の電源遮断

①Windowsのスタートメニューからシャットダウンを選択し、実行します。
②リザルト機用ディスプレイの電源をOFFにします。
③リザルト機の電源が遮断されたことを確認してからリザルト機用無停電電源の電源スイッチをOFFにします。

(3) サーバー機の電源遮断

①ネットワークプリンタの電源をOFFにします。
②画面右下のボタンでシャットダウンを選択し、実行します。
②サーバー機用ディスプレイの電源をOFFにします。
③サーバー機の電源が遮断されたことを確認してからサーバー機用無停電電源の電源スイッチをOFFにします。

4. ソフトウェアの概略

LDAC-SPシステムは2本のソフトウェアで構成されています。

4.1 エントリ・リザルトプログラム

(1) エントリプログラム

このプログラムは、レース走行に必要な競技者や各ヒートでの組み合わせ等を登録するプログラムです。

①大会登録
②競技者登録
③グループ登録
④競技者・発信器組合わせ登録

(2) リザルトプログラム

このプログラムは、計時プログラムによって計時された結果を画面に表示したり、プリンタで印刷したりします。

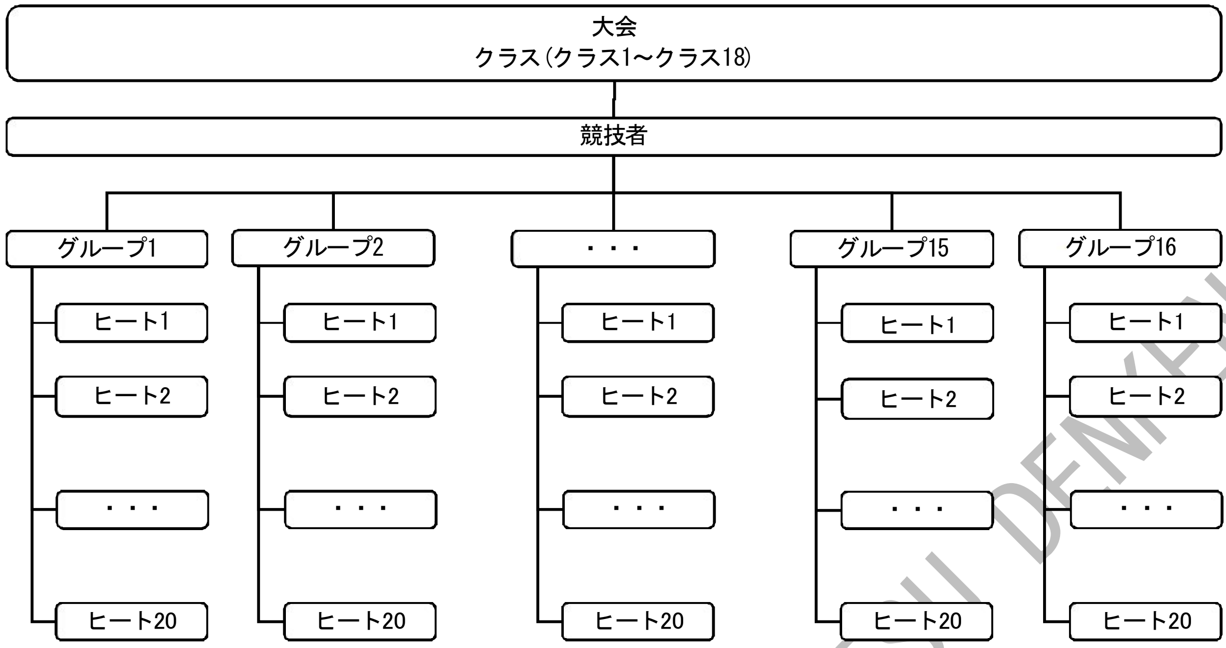
①リザルト編集
②リザルト自動表示
③レース途中結果

4.2 計時プログラム

このプログラムは、レースの計時やセンサチェックを行います。エントリプログラムで登録された内容によりレースを行います。登録なしにフリー走行を行うことも可能です。

①レース計時
②フリー走行計時
③通過データ修正
④センサチェック
⑤システム設定

4.3 エントリデータの考え方



手順を以下に示します。

①エントリプログラムを起動し、これから行う大会、クラスを登録して下さい。
計時やリザルトでの処理時にこの大会名で選択しますので、わかりやすい大会名を登録しておいた方が、運用しやすくなります。
クラスは18クラスの登録が可能で、競技者の登録処理にて参照します。

②競技者を登録します。
競技者は500人まで登録可能です。
その大会に出場する競技者を全て登録して下さい。

③グループは16グループが登録可能です。他のグループと間違えないようなグループ名を登録して下さい。

④組合わせ登録を行います。1グループ中に20ヒートまで登録可能で、1ヒート毎に1～250番までの発信器が用意されています。各発信器に1人の競技者を登録して下さい。
競技者・発信器組合わせ登録では、同一ヒートに同一競技者を登録することはできません。

5. エントリプログラム

レース走行に必要な競技者や各ヒートでの組合わせ等を登録するプログラムです。

5.1 起動と終了



デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックしてエントリプログラムを起動して下さい。

起動すると、下記のメニューが表示されます。



図5.1 メニュー

■大会選択

作業対象となる大会を選択します。5.2 大会選択 参照

■大会登録

新規大会登録、既存大会編集を行います。

5.3 大会登録 参照

■競技者登録

大会に参加する競技者の情報を登録、編集します。

5.4 競技者登録 参照

■グループ登録

大会のグループを登録、編集します。

5.5 グループ登録 参照

■競技者・発信器組合せ登録

グループ内のヒート毎に参加する競技者とその発信器番号を組み合わせます。

5.6 競技者・発信器組合わせ登録 参照

■バージョン情報

エントリプログラムのバージョン情報が表示されます。

■終了

エントリプラグラムを終了する時は、メニューの【終了】をクリックして下さい。

サーバー機の電源が入っていないなどの理由でサーバーにアクセスできない場合は、メッセージが表示されます。この場合、サーバーの電源投入からやり直してください。



図5.2 メッセージ

5.2 大会選択

(1) 大会選択

登録済みの大会を編集する時はメニューの【大会選択】をクリックして下さい。
大会選択画面が表示されます。
大会名をクリックすると選択された大会名の背景が黄色で表示されます。
上部のラジオボタンにより、大会/フリー走行を絞り込むことができます。

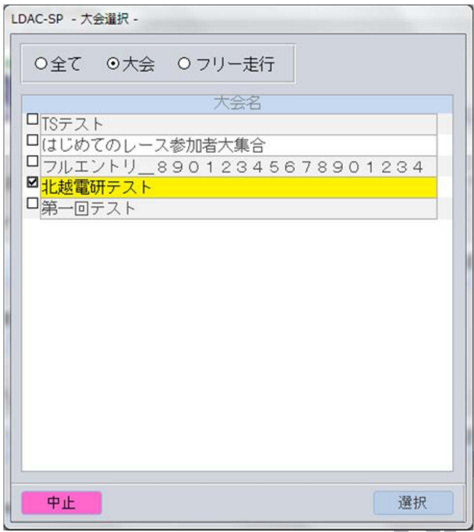


図5.3 大会選択

大会が選択されると、それ以降の作業はすべて選択された大会が対象となります。
別の大会のデータを編集するときは再度、大会を選択して下さい。

■選択

選択した大会を確定する時は【選択】をクリックして下さい。黄色で表示されている大会名をダブルクリックしても確定します。

■中止

大会選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

5.3 大会登録

(1) 大会登録

新規に大会を登録したり、既存の大会情報を編集したりします。
メニューの【大会登録】をクリックすると大会登録画面が表示されます。
メニュー画面で大会が選択されているときは、その大会の情報が表示されます。



図5.4 大会登録

■新規

【新規】をクリックすると、全項目が空欄の状態になり、新しく大会情報を入力することができます。
大会名は、後から見てもわかりやすい名称を付けて下さい。
クラス名は18クラス登録できます。競技者登録でこのクラス名を参照します。

各情報の文字数の制限は次のとおりです。

大会名	全角文字で最大24文字(半角48文字)
主催者1	全角文字で最大21文字(半角42文字)
主催者2	全角文字で最大21文字(半角42文字)
主催者3	全角文字で最大21文字(半角42文字)
クラス名	全角文字で最大 5文字(半角10文字)

■編集

既に大会が選択されているときは、大会情報を編集することができます。

■印刷

大会の情報を印刷します。

■削除

表示されている大会を削除します。大会情報だけでなく、その大会に関連付けられた情報(競技者、グループ、ヒート、レース結果等)がすべて削除されます。

■終了

登録、変更した内容を保存するときは【終了】をクリックして下さい。大会の情報がサーバーに保存されます。

■中止

登録、変更した内容を保存しないときは【中止】をクリックして下さい。

5.4 競技者登録

(1) 競技者登録(一覧)

競技者の登録を行います。競技者は500件まで登録することが可能です。大会に参加する競技者を全て登録して下さい。

メニューの【競技者登録】をクリックすると競技者登録(一覧)画面が表示されます。

大会が選択されていな状態で【競技者登録】をクリックすると大会選択画面が表示されます。(5.2 大会選択 参照)



	Ent.	Num.	エントラント名	氏名	クラス名	車名	新エントリNo
□	1	29	新潟県長岡市	田端 明慶、吉田 将也	F４	tabata_akiyo	
□	2	265	新潟県長岡市川辺町	五味 美咲、小泉 芳正	F１７	gomi_misaki@	
□	3	767	新潟県長岡市十二潟町	木本 美和子、羽田 勝久	F７	kimoto_miwak	
□	4	228	新潟県長岡市高見	宇田川 あおい、若松 恵麻	F８	udagawa_aoi@	
□	5	379	新潟県長岡市高見町	小峰 真悠子、野沢 未來	F２	komine_mayuk	
□	6	196	新潟県長岡市東高見	余 文世、吹石 そら	F１７	yo_fumiyo@ex	
□	7	417	新潟県長岡市黒津町	大貫 満、篠山 サンタマリア	F１３	oonuki_mitsu	
□	8	024	新潟県長岡市天神町	久保田 ヒロ、藤沢 陽子	F４	kubota_hiro@	
□	9	698	新潟県長岡市下々条町	古賀 一代、川井 小百合	F２	koga_kazuyo@	
□	10	587	新潟県長岡市下々条	今西 草太、門脇 一代	F１	imanishi_sou	
□	11	440	新潟県長岡市原町	緒方 マサカズ、神谷 基祐	F１２	ogata_masaka	
□	12	255	新潟県長岡市北園町	五十嵐 春樹、竹下 りえ	F５	igarashi_har	
□	13	893	新潟県長岡市寿	磯村 慎之介、松原 慶二	F５	isomura_shin	
□	14	598	新潟県長岡市宝	黒岩 昌代、須田 怜奈	F１４	kuroiwa_masa	
□	15	293	新潟県長岡市中瀬	沖田 たまき、黒木 貴美子	F１５	okita_tamaki	
□	16	178	新潟県長岡市城岡	伊藤 誠一、有田 恵梨香	F７	itou_seiichi	
□	17	173	新潟県長岡市東新町	平山 真一、余 友也	F８	hirayama_shi	
□	18	059	新潟県長岡市新町	美木 恵梨香、高嶋 満	F８	miki_erika@e	
□	19	543	新潟県長岡市西新町	西村 ちえみ、神谷 まみ	F１１	nishimura_ch	
□	20	789	新潟県長岡市泉	沢 薫、菊田 明	F１０	sawa_kaoru@e	
□	21	729	新潟県長岡市石内	神崎 洋、日比野 砂羽	F１２	kannzaki_you	

図5.5 競技者登録(一覧)

■編集

編集したい行をダブルクリックすると競技者登録(個別)画面が表示されます。

5.4(1) 競技者登録(一覧) 参照

■印刷

登録された全競技者の一覧を印刷します。

■取込

Microsoft Excel(以降Excel)等で作成したCSVデータを取り込んで競技者登録します。

5.4(3) 外部データ取込み 参照

■削除

左端のチェックボックスをクリックして競技者を選択(複数選択可能)した状態で【削除】をクリックすると該当の競技者の情報が削除されます。

■新エントリNo.

登録済みのエントリNo.の変更や移動を行います。新エントリNo.に-1を入力すると、その競技者は削除されます。

■終了

登録、変更した内容を保存するときは【終了】をクリックして下さい。競技者の情報がサーバーに保存されます。

■中止

登録、変更した内容を保存しないときは【中止】をクリックして下さい。

(2) 競技者登録(個別)

競技者登録(一覧)画面で編集する行をダブルクリックすると競技者登録(個別)画面が表示されます。



図5.6 競技者登録(個別)

各情報の文字数の制限は下記のとおりです。

ゼッケンNo.	半角3文字(数字とスペースのみ)
エントラント名	全角文字で最大20文字(半角40文字)
氏名	全角文字で最大20文字(半角40文字)
車名	全角文字で最大 6文字(半角12文字)

■-1件

前のエントリNo.の内容に移動します。

■+1件

次のエントリNo.の内容に移動します。

■-10件

10件前のエントリNo.の内容に移動します。

■+10件

10件後のエントリNo.の内容に移動します。

■閉じる

登録、変更した内容を保存するときは【閉じる】をクリックして下さい。

■中止

登録、変更した内容を保存しないときは【中止】をクリックして下さい。

(3) 外部データ取込み

LDAC-SP は外部データを取り込む事が出来ます。

主催者より競技者データをEメールやUSBメモリで預かり、そのデータを簡単な加工のみで取り込む事が可能です。

【取込】をクリックすると『ファイルを開く』ダイアログが表示されます。

取込みたいデータのファイル名を選択してから【開く】をクリックして下さい。

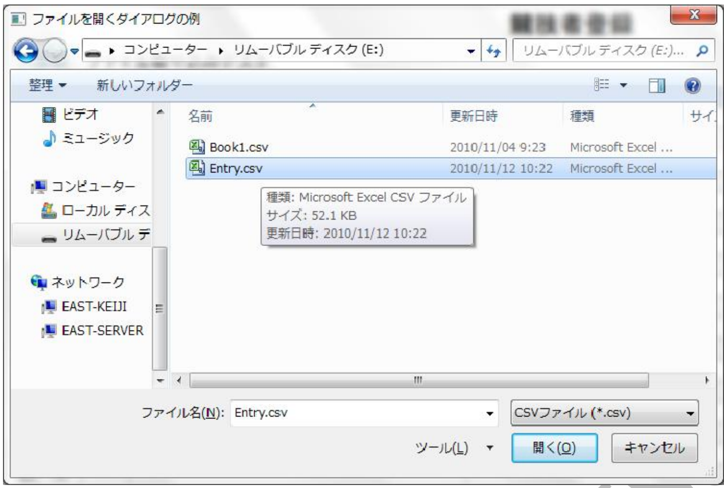


図5.7 ファイルを開くダイアログ

取り込みが完了するとメッセージが表示されます。取込エラーがあった場合は件数が表示されます。

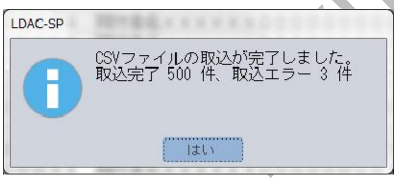


図5.8 メッセージ

(4) 外部データの編集

取り込めるデータ形式はCSVフォーマットと呼ばれるもので、Excelで保存可能な形式です。

データには項目の並び順があります。項目並び順を間違えると正しく取り込む事が出来ません。

ExcelのシートA左よりA、B、C、D、E、F列を使用します。

列	項目	説明
A列	エントリNo.	エントリNo.を入力します。1～500番までの連番です。
B列	エントラント名	エントラント名を入力します。全角20文字(半角40文字)まで入力可能です。※
C列	ゼッケンNo.	ゼッケンNo.を入力します。数値3桁の入力です。1,01,001と判別します。
D列	車名	車名を入力します。全角6文字(半角12文字)まで入力可能です。※
E列	クラスNo.	クラス名を入力します。1～18までの番号を入力します。
F列	競技者名	競技者名を入力します。全角20文字(半角40文字)まで入力可能です。※

※既定された文字数より長い場合は、オーバーした文字は *LDAC-SP* へは取り込まれません。

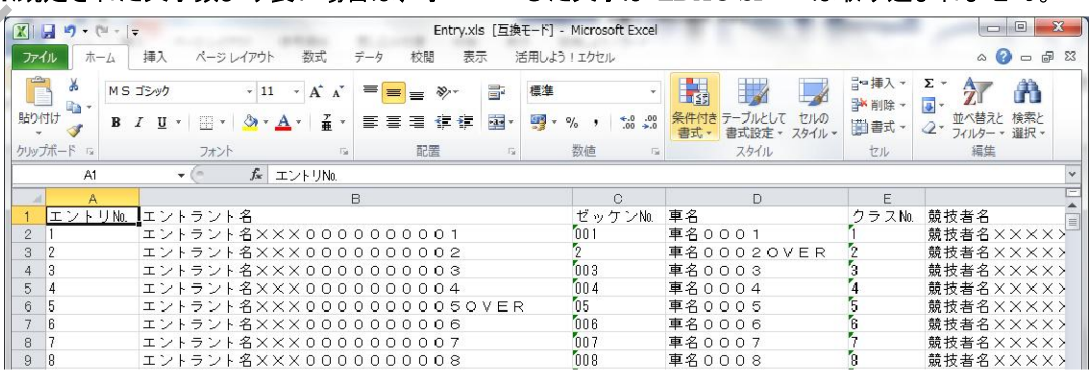


図5.9 Microsoft Excel

データの編集が終了したら、『ファイル』タブをクリックし、【名前を付けて保存】をクリックします。



図5.10 ファイルタブ

【ファイルの種類】ドロップダウンリストボックスから、『CSV(カンマ区切り)(*.CSV)』を選択し、【保存】をクリックします。

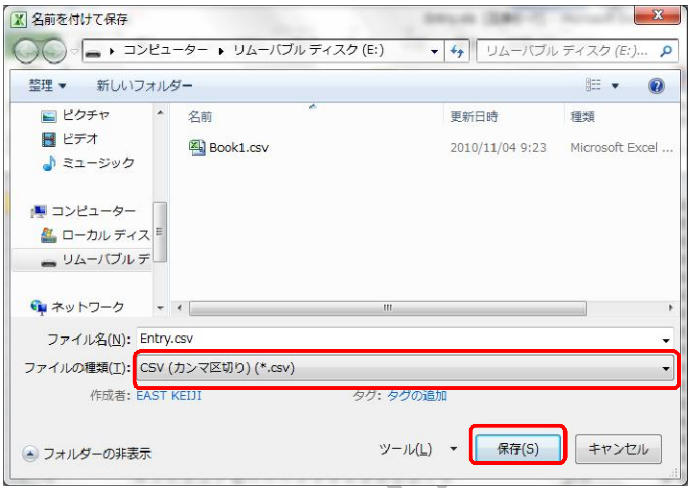


図5.11 名前を付けて保存ダイアログ

「選択したファイルの種類は複数のシートを含むブックをサポートしていません。」とウィンドウが表示されますが、【OK】をクリックしてください。

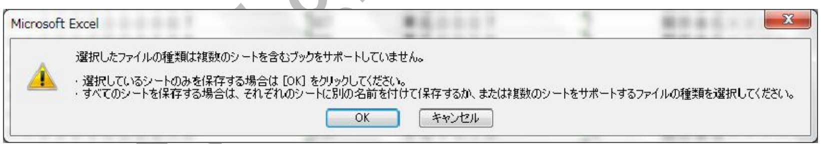


図5.12 メッセージ

「********.CSVには、CSV(カンマ区切り)と互換性のない機能が含まれる可能性があります。この形式でブックを保存しますか?」とウィンドウが表示されますが、【はい(Y)】をクリックしてください。

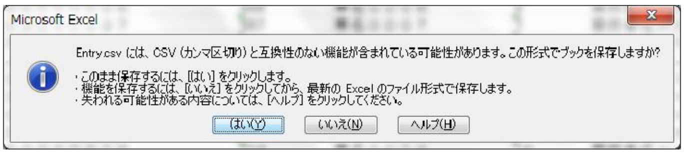


図5.13 メッセージ

5.5 グループ登録

(1) グループ登録

　グループの名称を登録します。16グループまで登録ができます。
　メニューの【グループ登録】をクリックするとグループ登録画面が表示されます。
　大会が選択されていな状態で【グループ登録】をクリックすると大会選択画面が表示されます。(5.2 大会選択参照)
　グループNo.の左側に*マークの付いているグループは、ヒートの情報が登録済みのグループです。

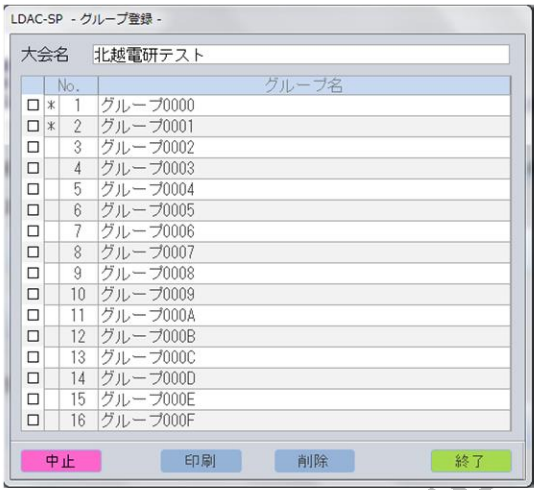


図5.14 グループ登録

　各情報の文字数の制限は下記のとおりです。

グループ名	全角文字で最大24文字(半角48文字)

■編集
　グループ名の欄を直接編集します。

■印刷
　グループの一覧を印刷します。

■削除
　左端のチェックボックスをクリックしてグループを選択(複数選択可能)した状態で【削除】をクリックすると該当のグループの情報が削除されます。各グループに関連するヒート情報や組合せ情報も削除されます。

■終了
　登録、変更した内容を保存するときは【終了】をクリックして下さい。グループの情報がサーバーに保存されます。

■中止
　登録、変更した内容を保存しないときは【中止】をクリックして下さい。

5.6 競技者・発信器組合わせ登録

各グループのヒート毎に発信器と競技者を組合わせ(割当て)ます。

1グループに20ヒートまで登録することができ、1ヒートあたり250台まで組み合わせることができます。同一ヒート内に同じ競技者を組み合わせる事はできません。

メニューの【競技者・発信器組合わせ登録】をクリックするとグループ選択画面が表示されます。大会が選択されていな状態で【競技者・発信器組合わせ登録】をクリックすると大会選択画面が表示されます。(5.2 大会選択 参照)

(1) グループ選択

グループ名をクリックすると選択されたグループの背景が黄色で表示されます。
左端に*マークの付いたグループは競技者・発信器組合わせデータが存在するグループです。

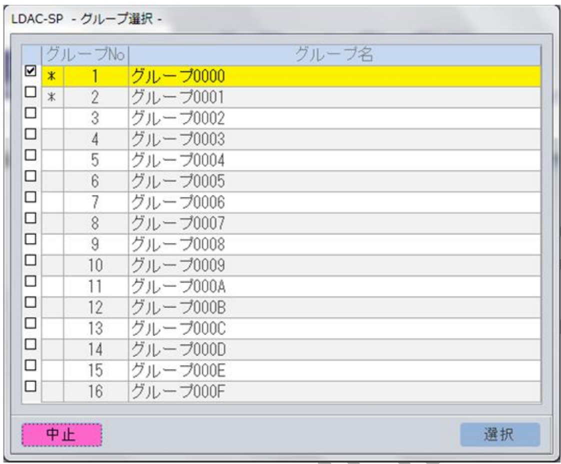


図5.15 グループ選択

■選択

選択したグループを確定する時は【選択】をクリックして下さい。黄色で表示されているグループ名をダブルクリックしても確定します。

■中止

グループ選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(2) 競技者組合せ登録

グループを選択すると競技者・発信器組合わせ登録画面が表示されます。

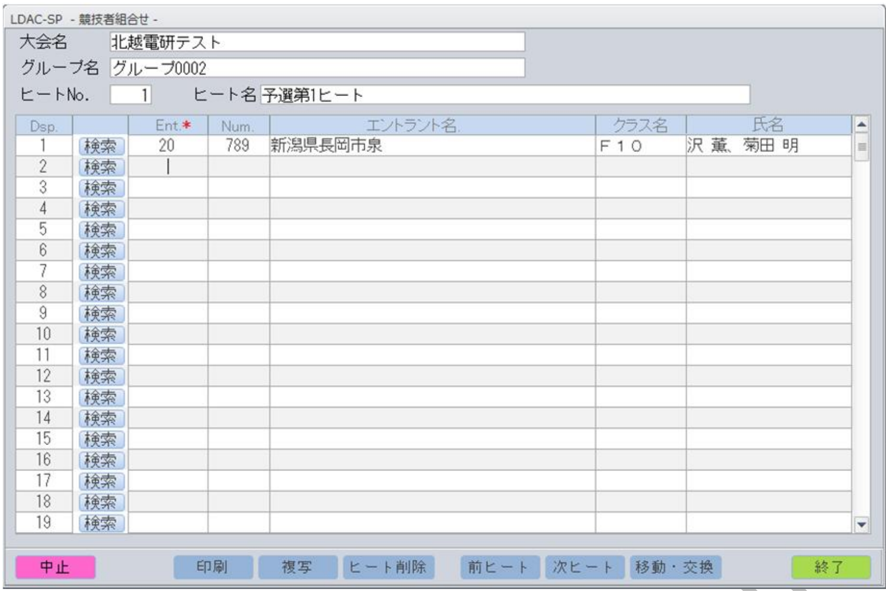


図5.16 競技者組合せ

各情報の文字数の制限は下記のとおりです。

ヒート名	全角文字で最大30文字(半角60文字)

■編集
発信器No.(Dsp.)に対応する競技者エントリNo.をEnt.欄に入力して下さい。
エントラント名などの競技者情報が表示されます。
エントリNo.が分からないときは【検索】をクリックして下さい。(5.6(3) 競技者選択 参照)

■印刷
ヒート毎の組合せ一覧を印刷します。

■複写
現在のヒートの組合せ情報を次のヒートに複写します。次のヒートが登録済みの場合は次のヒートと現在のヒートの間に挿入されます。
20ヒートすべてが登録済みの場合は複写できません。

■ヒート削除
現在のヒートの組合せ情報を削除します。次のヒートが登録済みの場合は、次のヒートが前詰めされます。
走行済みヒートを削除した場合、レース結果等もすべて削除されます。

■前ヒート
1つ前のヒートに移動します。

■次ヒート
1つ次のヒートに移動します。

■移動・交換
同一ヒート内で競技者の交換・移動を行います。(5.6(4) 発信器移動・交換 参照)

■終了
登録、変更した内容を保存するときは【終了】をクリックして下さい。組合せの情報がサーバーに保存されます。

■中止
登録、変更した内容を保存しないときは【中止】をクリックして下さい。

(3) 競技者選択

競技者組合せ画面から【検索】をクリックすると競技者選択画面が表示されます。
表示直後は登録されている全競技者が表示されています。
競技者情報をクリックすると選択された競技者の背景が黄色で表示されます。



図5.17 競技者選択

■検索

クラス名、またはエントラント名・氏名を指定して【検索】をクリックすると条件に応じて競技者のリストが絞り込まれます。

エントラント名・氏名の一部を入力した場合は該当する競技者が全て表示されます。

■選択

選択した競技者を確定する時は【選択】をクリックして下さい。黄色で表示されている競技者をダブルクリックしても確定します。

■中止

競技者選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(4) 発信器移動・交換

【移動・交換】をクリックすると発信器移動・交換画面が表示されます。

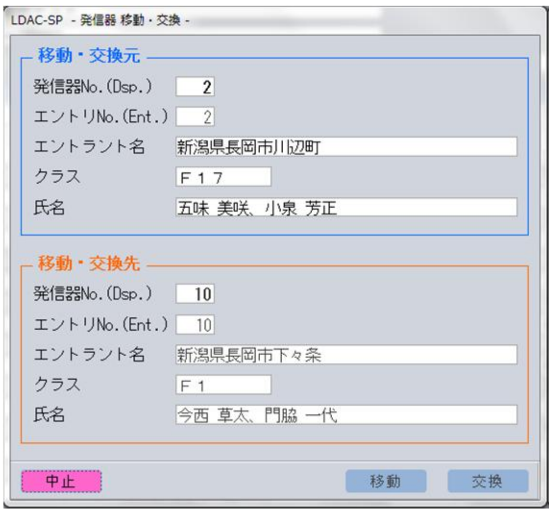


図5.18 発信器移動・交換

発信器No.欄に発信器No.を入力して下さい。該当する競技者が存在する場合、競技者の情報が表示されます。

■中止

移動・交換を中止するときは【中止】をクリックして下さい。

■移動

移動元の発信器No.に登録されている競技者を移動先の発信器No.へ移動します。移動元の発信器No.に競技者が登録されている必要があります。移動元の後ろの競技者は前詰めされます。

発信器No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		...		248	249	250
エントリNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11						

発信器No.2を発信器No.10へ移動　↓

発信器No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		...		248	249	250
エントリNo.	1	3	4	5	6	7	8	9	10	2	11						

■交換

交換元の発信器No.に登録されている競技者と交換先の発信器No.に登録されている競技者を交換します。交換元、交換元ともに発信器No.に競技者が登録されている必要があります。

発信器No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		...		248	249	250
エントリNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11						

発信器No.2と発信器No.10を交換　↓

発信器No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		...		248	249	250
エントリNo.	1	10	3	4	5	6	7	8	9	2	11						

6. 計時プログラム

レースの計時やセンサチェックを行います。エントリプログラムで登録された内容によりレースを行います。登録なしにフリー走行を行うことも可能です。

6.1 起動と終了

デスクトップにショートカットアイコンが準備してありますので、これをダブルクリックして計時プログラムを起動して下さい。



起動すると、下記のメニューが表示されます。

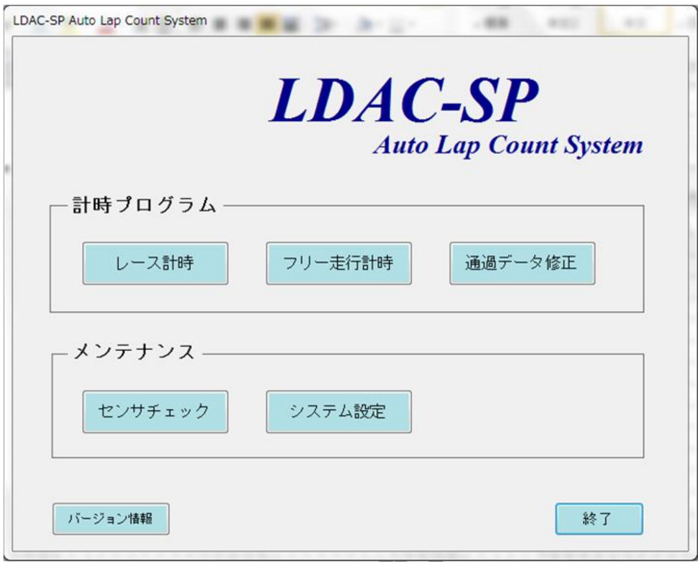


図6.1 メニュー

計時プログラムを終了する時は【終了】をクリックして下さい。

サーバー機の電源が入っていないなどの理由でサーバーにアクセスできない場合は、メッセージが表示されます。この場合、サーバーの電源投入からやり直してください。



図6.2 メッセージ(DBアクセス)

計時機とコントロールBOXの間の通信に異常がある場合は次のメッセージが表示されます。各部の電源、通信ケーブル等を確認して下さい。



図6.3 メッセージ(通信異常)

通過データ印刷用のジャーナルプリンタが利用できない状態の場合、メニュー右上にメッセージが表示されます。



図6.4 メッセージ(ジャーナルプリンタ)

■電源OFF
ジャーナルプリンタの電源が入っていません。またはUSBケーブルが接続されていません。

■カバーオープン
ジャーナルプリンタの前面カバーが開いています。

■用紙切れ
ジャーナルプリンタの用紙がありません。

6.2　レース計時

エントリプログラムで入力された大会情報をもとにレース計時を行います。
メニューから【レース計時】をクリックすると大会選択画面が表示されます。

(1) 大会選択

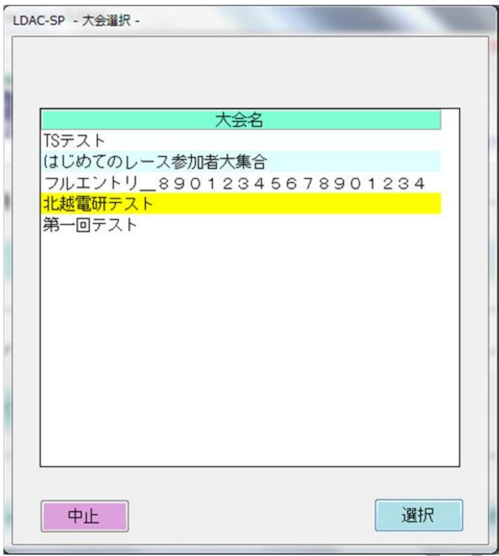


図6.5 大会選択

計時を行う大会を選択して下さい。大会名をクリックすると選択された大会の背景が黄色で表示されます。このままダブルクリックするか、【選択】をクリックして下さい。
大会選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(2) グループ選択

大会が選択されるとグループ選択画面が表示されます。



図6.6 グループ選択

グループ名をクリックすると選択されたグループの背景が黄色で表示されます。このままダブルクリックするか、【選択】をクリックして下さい。
左端に*マークの付いたグループは競技者・発信器組合わせデータが存在するグループです。組合せデータがないグループは選択できません。
グループ選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(3) ヒート選択

グループが選択されるとヒート選択画面が表示されます。

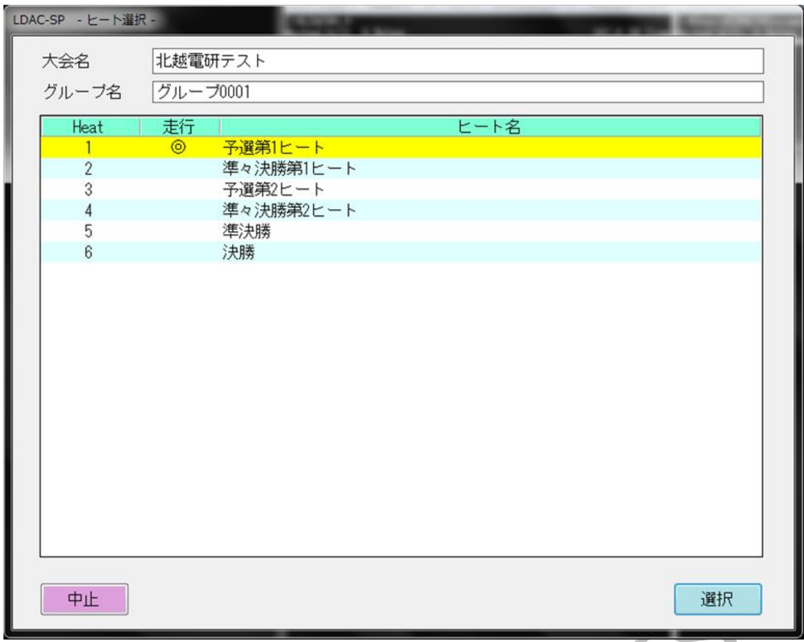


図6.7 ヒート選択

ヒート名をクリックすると選択されたヒートの背景が黄色で表示されます。このままダブルクリックするか、【選択】をクリックして下さい。

走行欄に◎マークの付いたヒートは走行済みヒートです。

ヒート選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(4) ヒート情報

ヒートが選択されるとヒート情報画面が表示されます。



図6.8 ヒート情報

■ヒート名

競技者・発信器組み合わせ登録で登録したヒート名を修正することができます。

■天候

晴れ、曇り、雨の中から選択してください。直接入力することも可能です。

■コース状況

ドライ、ハーフウェット、ウェットの中から選択してください。直接入力することも可能です。

■最短ラップ時間

車両がサーキットを1周するために必要な最短時間を設定します。ラップ時間が最短ラップ時間より短い通過データは無効となります。このヒートのみ有効な値となります。

設定範囲:0分1秒～59分59秒

■レコードラップ

コースごとのレコードラップを設定します。このヒートのみ有効な設定値となります。

設定範囲:0分1秒000～59分59秒999

■通過データ印刷

車両の通過情報をジャーナルプリンタに印刷するかどうかを設定します。

■ピット使用

ピットゲート指定で指定したゲートセンサをピットゲートのセンサとして認識するかどうかを設定します。

各情報の文字数の制限は下記のとおりです。

ヒート名	全角文字で最大30文字(半角60文字)
天候	全角文字で最大10文字(半角20文字)
コース状況	全角文字で最大10文字(半角20文字)

【開始】をクリックするか、卓上操作器の【開始】スイッチを押すと計時を開始します。レース計時を中止するときは【中止】ボタンをクリックして下さい。

最短ラップ、レコードラップ、通過データ印刷、ピット使用の初期値はシステム設定で変更することができます。(6.6 システム設定 参照)

システム設定で「レース前センサチェック」を行う設定になっているときは通過センサのチェックが行われます(6.6 システム設定 参照)。チェックの結果、通過センサに異常がある場合はメッセージが表示されますので、通過センサの状態や配線を確認して下さい。

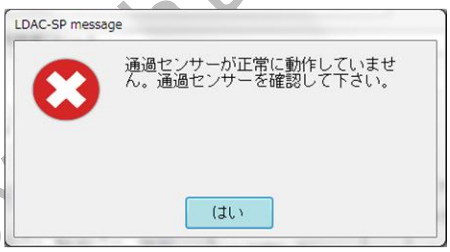


図6.9 メッセージ(通過センサ異常)

通過データ印刷用のジャーナルプリンタが利用できない状態の場合、ヒート情報画面右上にメッセージが表示されます。



図6.10 メッセージ(ジャーナルプリンタ)

■電源OFF

ジャーナルプリンタの電源が入っていません。またはUSBケーブルが接続されていません。

■カバーオープン

ジャーナルプリンタの前面カバーが開いています。

■用紙切れ

ジャーナルプリンタの用紙がありません。

(5) 計時

レース開始直後は、ベストラップタイム順に表示されます。



Pos.	Num.	エントラント名	所要時間	周回数	ラップタイム	ベストラップタイム	ピット
1	431	新潟県長岡市塩中	00:01′40″014	2	00:00′50″001	00′50″001 (2)	0
2	469	新潟県長岡市梅野俣	00:01′40″794	2	00:00′50″015	00′50″015 (2)	0
3	965	新潟県長岡市山口	00:01′40″669	2	00:00′50″016	00′50″016 (2)	0
4	992	新潟県長岡市栃尾原町	00:01′40″451	2	00:00′50″032	00′50″032 (2)	0
5	278	新潟県長岡市水沢	00:01′40″310	2	00:00′50″078	00′50″078 (2)	0
6	068	新潟県長岡市下樫出	00:01′40″139	2	00:00′50″079	00′50″079 (2)	0
7	11	新潟県長岡市二日町	00:01′40″263	2	00:00′50″094	00′50″094 (2)	0
8	772	新潟県長岡市熊袋	00:01′40″404	2	00:00′50″110	00′50″110 (2)	0
9	599	新潟県長岡市上樫出	00:01′40″388	2	00:00′50″187	00′50″187 (2)	0
10	947	新潟県長岡市上塩	00:01′40″217	2	00:00′50″188	00′50″188 (2)	0
11	325	新潟県長岡市葎谷	00:01′40″466	2	00:00′50″219	00′50″219 (2)	0
12	868	新潟県長岡市吉水	00:01′40″544	2	00:00′50″421	00′50″421 (2)	0
13	661	新潟県長岡市平中野俣	00:01′40″560	2	00:00′50″422	00′50″422 (2)	0
14	913	新潟県長岡市塩新町	00:01′40″716	2	00:00′50″500	00′50″500 (2)	0
15	688	新潟県長岡市滝之口	00:01′40″622	2	00:00′50″577	00′50″577 (2)	1
16	040	新潟県長岡市九川	00:01′40″856	2	00:00′50″593	00′50″593 (2)	0
17	813	新潟県長岡市山葵谷	00:01′40″731	2	00:00′50″624	00′50″624 (2)	0
18	280	新潟県長岡市栃尾原	00:01′41″480	2	00:00′51″201	00′51″201 (2)	0

図6.11 レース計時 ベストラップ順

表示項目は左から順に、順位、ゼッケンNo.、エントラント名、所要時間、周回数、ラップタイム、ベストラップタイム(ベストラップタイムの周回)、ピット回数です。

ゼッケンNo.に一が表示された場合は、組合わせ登録で登録されていない発信器が走行していることを示し、一と発信器No.が表示されます。

■印刷

車両の通過情報をジャーナルプリンタに印刷するかどうかを選択します。【印刷】をクリックする毎に、『印刷する』/『印刷しない』が切り替わります。

『印刷する』に設定されているときにジャーナルプリンタに異常があると画面右上にメッセージが表示されます。

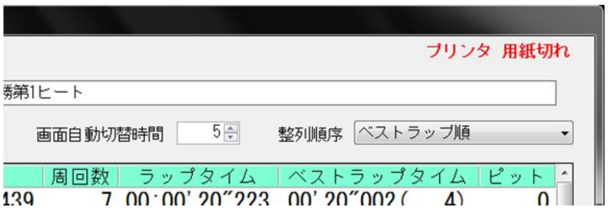


図6.12 メッセージ(ジャーナルプリンタ)

■表示、画面自動切替時間

走行台数が1画面に収まらないとき、画面自動切替時間で設定された時間毎に、画面が自動的にスクロールします。【表示】をクリックする毎に『自動』/『手動』が切り替わります。

『自動』/『手動』にかかわらず、スクロールバーは有効です。

■ピット

ピットゲートセンサの使用を選択します。【ピット】をクリックする毎に『使用する』/『使用しない』が切り替わります。

『使用しない』を選択した場合は、ピットゲートセンサ下を通過した車両のデータは無視されます。

■修正

発信器No.が認識できなかったデータに発信器No.を割り当てます。
6.4(5) 通過データ修正 修正 参照

■追加

何らかの理由でデータが取れなかった場合に通過データを追加します。
6.4(6) 通過データ修正 追加 参照

■無効

任意の通過データを無効にします。
6.4(7) 通過データ修正 無効 参照

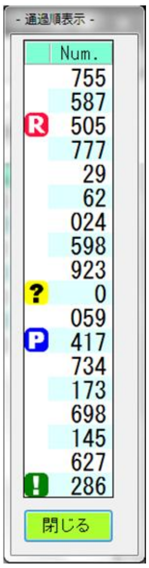
■整列順序

ドロップダウンリストボックスで計時データの整列順序を設定します。ベストラップ順、周回順、通過順が選択可能です。

レースを終了するときは【終了】をクリックします。
レースを中止するときは【中止】をクリックします。それまでのレース結果は保存されません。



図6.13 レース計時 通過順



整列順序で通過順を選択すると、ゲートを通過した順番にデータが表示されます。

表示項目は左から順に、ゼッケンNo.、エントラント名、所要時間、周回数、ラップタイム、ベストラップタイム(ベストラップタイムの周回)、ピット回数です。左端のマークは以下の意味を持ちます。



:発信器の故障や車両からの転落により、発信器No.が認識できなかった。



:複数台の車両が一度にゲートを通過したために通過センサの測定ができなかった。



:ピットイン



:レース開始時に設定されたレコードラップよりも短いラップタイムを記録した。

■通過表示

別ウインドウでゲートを通過した順番にゼッケンNo.が表示されます。
計時画面をクリックすると背面に隠れますが、【通過表示】をクリックすると再度表示されます。

6.3 フリー走行計時

エントリ処理を行っていないときでも計時をすることができます。

レース計時ではエントリ処理を行わないとレースを行うことができませんが、このフリー走行計時を使うことによりエントリ処理を行わなくてもレースをすることができます。

ただし、フリー走行計時では発信器№で管理されます。

メニューから【フリー走行計時】をクリックするとフリー走行名入力画面が表示されます。

(1) フリー走行名入力



図6.14 フリー走行名入力

直接フリー走行名を入力して【決定】をクリックして下さい。フリー走行を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

フリー走行名は、後から見てもわかりやすい名称を付けて下さい。

各情報の文字数の制限は下記のとおりです。

フリー走行名	全角文字で最大24文字(半角48文字)

(2) フリー走行情報

フリー走行名が決定されるとフリー走行情報画面が表示されます。



図6.15 フリー走行情報

■天候

晴れ、曇り、雨の中から選択してください。直接入力することも可能です。

■コース状況

ドライ、ハーフウェット、ウェットの中から選択してください。直接入力することも可能です。

■最短ラップ時間

車両がサーキットを1周するために必要な最短時間を設定します。ラップ時間が最短ラップ時間より短い通過データは無効となります。このヒートのみ有効な値となります。

設定範囲:0分1秒～59分59秒

■レコードラップ

コースごとのレコードラップを設定します。このヒートのみ有効な設定値となります。

設定範囲:0分1秒000～59分59秒999

■通過データ印刷
車両の通過情報をジャーナルプリンタに印刷するかどうかを設定します。

■ピット使用
ピットゲート指定で指定したゲートセンサをピットゲートのセンサとして認識するかどうかを設定します。

各情報の文字数の制限は下記のとおりです。

天候	全角文字で最大10文字(半角20文字)
コース状況	全角文字で最大10文字(半角20文字)

【開始】をクリックするか、卓上操作器の【開始】スイッチを押すと計時を開始します。フリー走行計時を中止するときは【中止】をクリックして下さい。

システム設定で『レース前センサチェック』を行う設定になっているときは通過センサのチェックが行われます(6.6 システム設定 参照)。チェックの結果、通過センサに異常がある場合はメッセージが表示されますので、通過センサの状態や配線を確認して下さい。

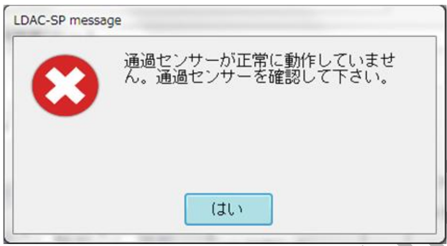


図6.16 メッセージ(通過センサ異常)

通過データ印刷用のジャーナルプリンタが利用できない状態の場合、フリー走行情報画面右上にメッセージが表示されます。

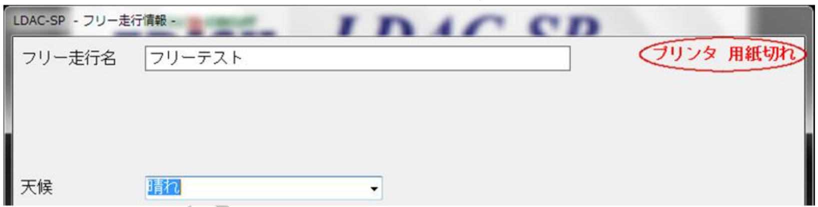


図6.17 メッセージ(ジャーナルプリンタ)

■電源OFF
ジャーナルプリンタの電源が入っていません。またはUSBケーブルが接続されていません。

■カバーオープン
ジャーナルプリンタの前面カバーが開いています。

■用紙切れ
ジャーナルプリンタの用紙がありません。

(3) 計時

レース開始直後は、ベストラップタイム順に表示されます。



Pos.	Dsp.	所要時間	周回数	ラップタイム	ベストラップタイム	ピット
1	27	00:38'39"437	46	00:00'50"419	00'50"008(40)	0
2	14	00:38'42"261	46	00:00'50"186	00'50"013(11)	1
3	13	00:38'42"932	46	00:00'50"279	00'50"003(2)	0
4	9	00:38'44"585	46	00:00'50"840	00'50"014(8)	1
5	2	00:38'44"773	46	00:00'51"278	00'50"001(33)	1
6	10	00:38'45"209	46	00:00'50"669	00'50"047(32)	2
7	33	00:38'45"428	46	00:00'50"701	00'50"018(12)	1
8	22	00:38'46"286	46	00:00'50"373	00'50"063(42)	0
9	23	00:38'46"785	46	00:00'50"279	00'50"008(39)	0
10	15	00:38'46"988	46	00:00'52"885	00'50"029(6)	2
11	11	00:38'47"627	46	00:00'50"681	00'50"045(41)	2
12	29	00:38'47"752	46	00:00'51"066	00'50"010(2)	0
13	7	00:38'48"860	46	00:00'51"604	00'50"008(30)	1
14	1	00:38'42"323	45	00:00'50"341	00'50"029(8)	2
15	21	00:38'42"651	45	00:00'50"264	00'50"020(4)	2
16	16	00:38'44"320	45	00:00'50"435	00'50"014(7)	1
17	6	00:38'44"851	45	00:00'51"075	00'50"016(6)	0
18	26	00:38'44"897	45	00:00'50"903	00'50"027(32)	0

図6.18 フリー走行計時 ベストラップ順

表示項目は左から順に、順位、発信器No.、所要時間、周回数、ラップタイム、ベストラップタイム(ベストラップタイムの周回)、ピット回数です。

■印刷

車両の通過情報をジャーナルプリンタに印刷するかどうかを選択します。【印刷】をクリックする毎に、『印刷する』/『印刷しない』が切り替わります。

『印刷する』に設定されているときにジャーナルプリンタに異常があると画面右上にメッセージが表示されます。



図6.19 メッセージ(ジャーナルプリンタ)

■表示、画面自動切替時間

走行台数が1画面に収まらないとき、画面自動切替時間で設定された時間毎に、画面が自動的にスクロールします。【表示】をクリックする毎に『自動』/『手動』が切り替わります。

『自動』/『手動』にかかわらず、スクロールバーは有効です。

■ピット

ピットゲートセンサの使用を選択します。【ピット】をクリックする毎に『使用する』/『使用しない』が切り替わります。

『使用しない』を選択した場合は、ピットゲートセンサ下を通過した車両のデータは無視されます。

■修正

発信器No.が認識できなかったデータに発信器No.を割り当てます。

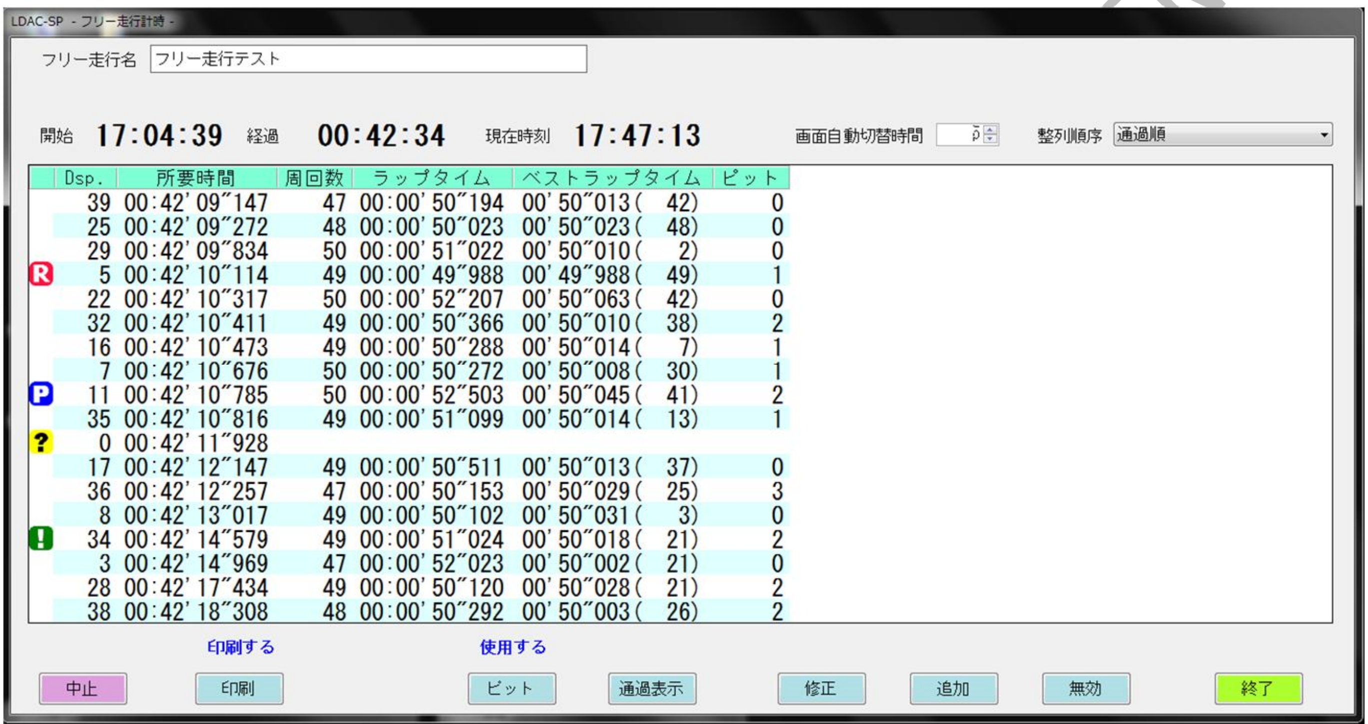
6.4(5) 通過データ修正 修正 参照

■追加
　何らかの理由でデータが取れなかった場合に通過データを追加します。
　6.4(6) 通過データ修正 追加 参照

■無効
　任意の通過データを無効にします。
　6.4(7) 通過データ修正 無効 参照

■整列順序
　ドロップダウンリストボックスで計時データの整列順序を設定します。ベストラップ順、周回順、通過順が選択可能です。

　フリー走行を終了するときは【終了】をクリックします。
　フリー走行を中止するときは【中止】をクリックします。それまでのフリー走行結果は保存されません。



	Dsp.	所要時間	周回数	ラップタイム	ベストラップタイム	ピット
	39	00:42'09"147	47	00:00'50"194	00'50"013(42)	0
	25	00:42'09"272	48	00:00'50"023	00'50"023(48)	0
	29	00:42'09"834	50	00:00'51"022	00'50"010(2)	0
R	5	00:42'10"114	49	00:00'49"988	00'49"988(49)	1
	22	00:42'10"317	50	00:00'52"207	00'50"063(42)	0
	32	00:42'10"411	49	00:00'50"366	00'50"010(38)	2
	16	00:42'10"473	49	00:00'50"288	00'50"014(7)	1
	7	00:42'10"676	50	00:00'50"272	00'50"008(30)	1
P	11	00:42'10"785	50	00:00'52"503	00'50"045(41)	2
	35	00:42'10"816	49	00:00'51"099	00'50"014(13)	1
?	0	00:42'11"928				
	17	00:42'12"147	49	00:00'50"511	00'50"013(37)	0
	36	00:42'12"257	47	00:00'50"153	00'50"029(25)	3
	8	00:42'13"017	49	00:00'50"102	00'50"031(3)	0
!	34	00:42'14"579	49	00:00'51"024	00'50"018(21)	2
	3	00:42'14"969	47	00:00'52"023	00'50"002(21)	0
	28	00:42'17"434	49	00:00'50"120	00'50"028(21)	2
	38	00:42'18"308	48	00:00'50"292	00'50"003(26)	2

図6.20 フリー走行計時 通過順

　整列順序で通過順を選択すると、ゲートを通過した順番にデータが表示されます。
　表示項目は左から順に、発信器No.、所要時間、周回数、ラップタイム、ベストラップタイム(ベストラップタイムの周回)、ピット回数です。左端のマークは以下の意味を持ちます。

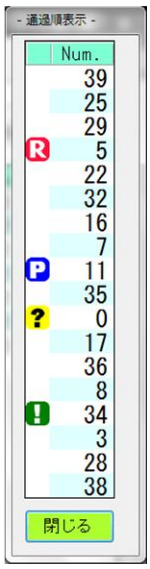
? :発信器の故障や車両からの転落により、発信器No.が認識できなかった。

! :複数台の車両が一度にゲートを通過したために通過センサの測定ができなかった。

P :ピットイン

R :レース開始時に設定されたレコードラップよりも短いラップタイムを記録した。

■通過表示
　別ウインドウでゲートを通過した順番に発信器No.が表示されます。
　計時画面をクリックすると背面に隠れますが、【通過表示】をクリックすると再度表示されます。



6.4 通過データ修正

通過データを修正します。計時中でも修正が可能です。
個人データの修正は3種類行う事ができます。
修正:発信器No.のない通過センサを通過した車両のデータを修正します。(発信器No.0)
追加:発信器と通過センサが両方検出できなかった車両のデータを追加します。
無効:コントロールゲート下で車両が故障やスピンしてしまった無効なデータを削除します。

(1) 大会選択

メニューから【通過データ修正】をクリックすると大会選択画面が表示されます。

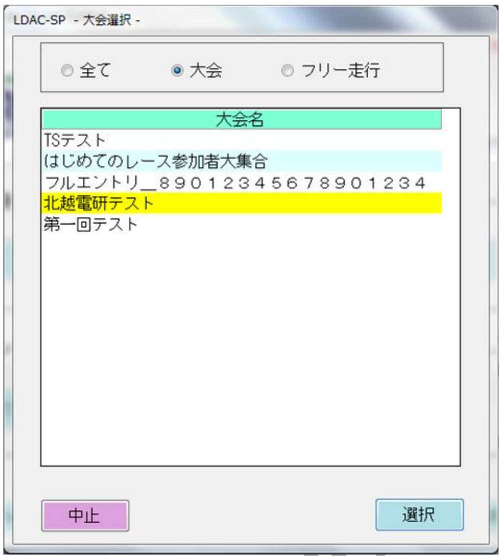


図6.21 大会選択

通過データ修正を行う大会またはフリー走行を選択して下さい。大会名(フリー走行名)をクリックすると選択された大会(フリー走行)の背景が黄色で表示されます。このままダブルクリックするか、【選択】をクリックして下さい。
上部のラジオボタンにより、大会/フリー走行を絞り込むことができます。
大会選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(2) グループ選択

大会が選択されるとグループ選択画面が表示されます。
フリー走行が選択されたときは6.4(4) 一覧表示 を参照して下さい。



図6.22 グループ選択

グループ名をクリックすると選択されたグループの背景が黄色で表示されます。このままダブルクリックするか、【選択】をクリックして下さい。

左端に*マークの付いたグループは競技者・発信器組合わせデータが存在するグループです。組合せデータがないグループは選択できません。

グループ選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(3) ヒート選択

グループが選択されるとヒート選択画面が表示されます。

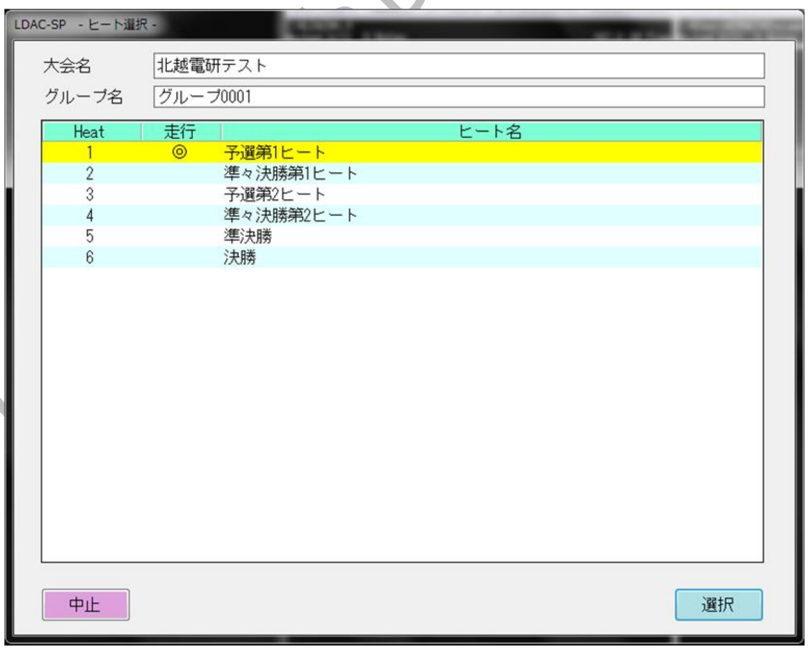


図6.23 ヒート選択

ヒート名をクリックすると選択されたヒートの背景が黄色で表示されます。このままダブルクリックするか、【選択】をクリックして下さい。

走行欄に◎マークの付いたヒートは走行済みヒートです。

ヒート選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(4) 一覧表示

大会選択でフリー走行が選択されるか、大会が選択された後、グループ、ヒートが選択されると一覧表示画面が表示されます。



Pos.	Num.	エントラント名	所要時間	周回数	ラップタイム	ベストラップタイム	ピット
1	406	新潟県長岡市学校町	00:26’05″603	31	00:00’50″554	00’50″001(22)	1
2	729	新潟県長岡市石内	00:26’04″589	30	00:00’50″226	00’50″002(6)	1
3	767	新潟県長岡市十二潟町	00:26’08″395	31	00:00’50″054	00’50″002(26)	2
4	173	新潟県長岡市東新町	00:26’09″347	30	00:00’50″069	00’50″002(18)	0
5	379	新潟県長岡市高見町	00:26’11″787	31	00:00’51″789	00’50″002(7)	0
6	505	新潟県長岡市稽古町	00:26’09″285	31	00:00’51″568	00’50″003(19)	2
7	228	新潟県長岡市高見	00:26’10″700	30	00:00’51″152	00’50″004(24)	0
8	777	新潟県長岡市蔵王	00:26’13″176	30	00:00’50″005	00’50″005(30)	0
9	734	新潟県長岡市東蔵王	00:26’10″236	31	00:00’50″568	00’50″007(30)	1
10	893	新潟県長岡市寿	00:26’08″957	31	00:00’50″445	00’50″008(2)	0
11	417	新潟県長岡市黒津町	00:26’13″098	29	00:00’51″902	00’50″009(11)	0
12	995	新潟県長岡市土合	00:26’03″107	31	00:00’51″084	00’50″010(28)	1
13	406	新潟県長岡市東栄	00:26’09″815	28	00:01’40″747	00’50″010(23)	0
14	145	新潟県長岡市西神田町	00:26’12″567	29	00:00’50″067	00’50″013(16)	3
15	196	新潟県長岡市東高見	00:26’09″004	31	00:00’50″367	00’50″014(27)	2
16	048	新潟県長岡市台町	00:26’10″127	30	00:01’40″326	00’50″014(20)	1
17	024	新潟県長岡市天神町	00:26’11″120	29	00:00’50″294	00’50″014(14)	0
18	923	新潟県長岡市四郎丸	00:26’08″317	30	00:00’52″628	00’50″018(7)	0

図6.24 通過データ修正 一覧表示 ベストラップ順

■整列順序

ドロップダウンリストボックスで計時データの整列順序を設定します。ベストラップ順、周回順が選択可能です。

通過データ修正を終了するときは【終了】をクリックします。

(5) 通過データ修正 修正

発信器No.が認識できなかったデータに発信器No.を割り当てます。

【修正】をクリックするとデータ修正画面が表示されます。



所要時間	Dsp.		Num.	エントラント名	クラス名	氏名	車名
00:26’10″408	2	検索	265	新潟県長岡市川辺町	F17	五味 美咲、小泉 芳正	gomi misaki@
00:25’20″048	0	検索					
00:25’19″168	0	検索					
00:24’30″128	0	検索					
00:24’29″848	0	検索					
00:24’27″048	0	検索					
00:24’26″768	0	検索					
00:23’38″088	0	検索					
00:22’47″688	0	検索					
00:21’05″248	0	検索					
00:21’03″848	0	検索					
00:19’27″728	0	検索					
00:18’33″368	0	検索					
00:16’04″408	0	検索					
00:16’04″088	0	検索					
00:15’12″088	0	検索					
00:15’09″728	0	検索					
00:13’35″568	0	検索					
00:12’42″488	0	検索					
00:12’42″168	0	検索					

図6.25 データ修正

通過センサのみで検出した車両データ(発信器No.0)がリスト表示されていますので、該当の通過データに発信器No.を入力します。ゼッケンNo.やエントラント名で検索を行う場合は【検索】をクリックして下さい。フリー走行が選択されているときは【検索】が無効となります。(6.4(8) 競技者選択 参照)

修正を中止するときは【中止】をクリックして下さい。それまでの修正がキャンセルされます。【終了】をクリックすると修正データを保存して終了します。

(6) 通過データ修正 追加

車両がコントロールゲートを通過した際に、ゲートセンサと通過センサの両方で検出できなかった車両のデータを追加します。

【追加】をクリックするとデータ追加画面が表示されます。



図6.26 データ追加

所要時間に時・分・秒・ミリ秒を入力し、発信器No.を入力します。ピットゲートを通過したデータは【ピット通過】をクリックして下さい。

ゼッケンNo.やエントラント名で検索を行う場合は【検索】をクリックして下さい。フリー走行が選択されているときは【検索】が無効となります。(6.4(8) 競技者選択 参照)

追加を中止するときは【中止】をクリックして下さい。【終了】をクリックすると追加データを保存して終了します。

(7) 通過データ修正 無効

コントロールゲート下で車両が故障やしたときなど、無効なデータを削除します。

【無効】をクリックするとデータ無効画面が表示されます。

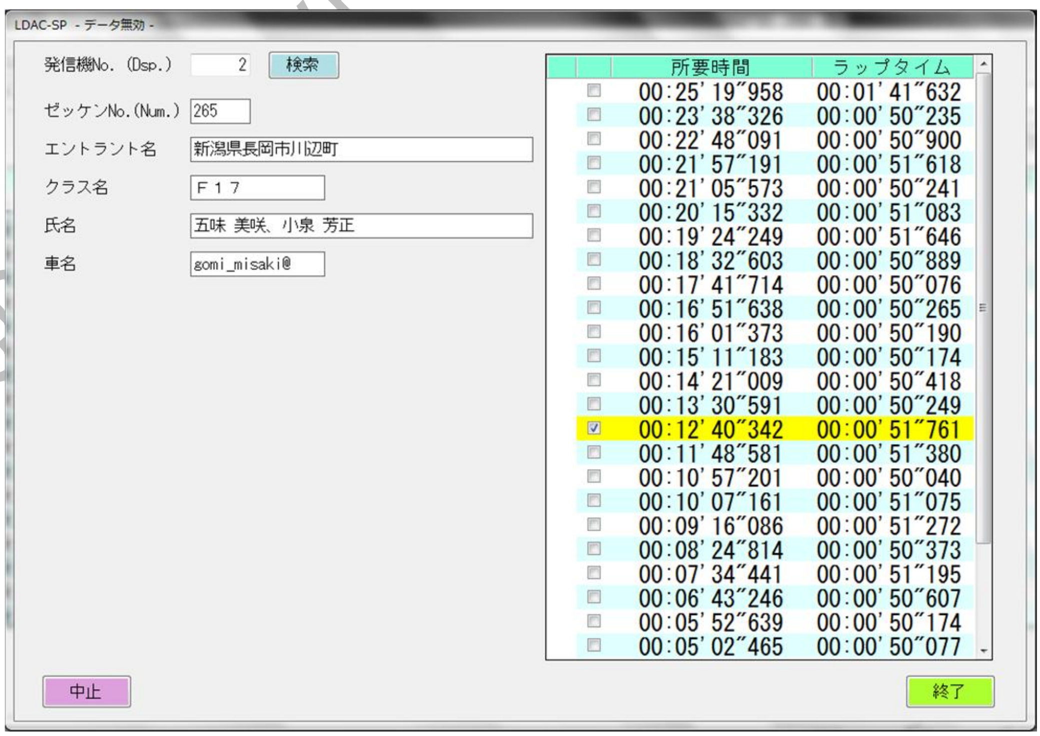


図6.27 データ無効

発信器No.を入力すると画面右側にその車両の全周回所要時間とその時のタップタイムが表示されます。そのデータの中から不要なデータのチェックボックスにマークを付ける事により無効化を行います。

ゼッケンNo.やエントラント名で検索を行う場合は【検索】をクリックして下さい。フリー走行が選択されているときは【検索】が無効となります。(6.4(8) 競技者選択 参照)

無効を中止するときは【中止】をクリックして下さい。【終了】をクリックすると無効データを更新保存して終了します。

(8) 競技者選択

修正、追加、無効の各画面から【検索】をクリックすると競技者選択画面が表示されます。

表示直後は登録されている全競技者が表示されています。



図6.28 競技者選択

競技者情報をクリックすると選択された競技者の背景が黄色で表示されます。このままダブルクリックするか、【選択】をクリックして下さい。

競技者選択を中止する時は中止ボタンをクリックして下さい。

■検索

クラス名、またはエントラント名・氏名を指定して【検索】をクリックすると条件に応じて競技者のリストが絞り込まれます。

エントラント名・氏名の一部を入力した場合は該当する競技者が全て表示されます。

6.5 センサチェック

ゲートセンサと通過センサのチェックを行います。
1日1回使用(計時)前に、このセンサチェックを利用してセンサをチェックする事をおすすめします。
メニューから【センサチェック】をクリックするとセンサチェック画面が表示されます。

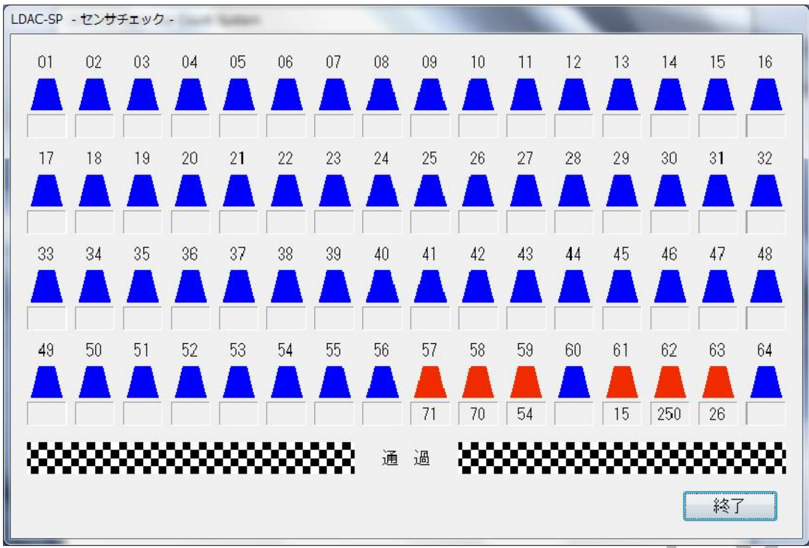


図6.29 センサチェック

ゲートセンサのチェックは、発信器をゲートセンサに向けることにより行います。
通過センサのチェックは、受光側のセンサの受光部を遮ることにより行います。2個1組となっていますので、片側づつチェックする必要があります。
ゲートセンサは1～64まで番号が割り当てられています。(コースによって使用しているゲートセンサ番号は異なります。)図ではセンサ57番が発信器71番を、センサ58番が発信器70番を、センサ61番が発信器15番を、センサ62番が発信器250番を、センサ63番が発信器26番を検出しています。
通過センサが遮光されるとチェッカーマークで表示を行います。
センサチェックを終了する時は【終了】をクリックして下さい。

6.6 システム設定

主に計時に必要な各種設定を行います。この設定を適当な値に設定しないと、実際にレースを計時する際に車両の通過を検出できなかったりするときがありますので十分に注意して設定して下さい。

メニューから【システム設定】をクリックするとシステム設定画面が表示されます。



図6.30 システム設定

ここで設定する項目は導入時に最適な設定が行われます。

無用な設定変更は、動作に異常を起こすばかりでなく、システムの使用の妨げになることがありますので、十分注意して下さい。

■最短ラップ時間初期値

車両がサーキットを1周するために必要な最短時間を設定します。ラップ時間が最短ラップ時間より短い通過データは無効となります。

レース直前にも変更が可能ですが、そのヒート(フリー走行)のみで有効な設定値となります。

設定範囲:0分1秒～59分59秒

■感知ディレイ時間

通過センサとゲートセンサの検出間隔を設定します。

コントロールゲート真下(ゲートセンサ)に通過センサがある場合はこの値を小さく、コントロールゲート(ゲートセンサ)と通過センサに間隔がある場合はこの値を大きくします。

設定範囲:1～999(0.1～99.9秒)[通常は1～3(0.1～0.3秒)を設定します。]

■ピットゲート指定

ピットロードに使用されている、ゲートセンサ番号を指定します。

4個まで指定が可能です。

■画面自動切替時間初期値

レース中にベストラップタイム順または周回数順で表示を行っているとき、全ての競技者のデータが1画面に表示されなくなった場合に、自動的に画面を切替えて表示を行います。レース中の画面からも変更が可能です。

設定範囲:1～120秒

■レコードラップ時間初期値

コースごとのレコードラップを設定します。

レース直前にも変更が可能ですが、そのヒート(フリー走行)のみで有効な設定値となります。

設定範囲:0分1秒000～59分59秒999

■センサ選択

通過車両をゲートセンサと通過センサを併用して測定するか、ゲートセンサのみで測定するかを設定します。

ゲートセンサのみで測定した場合、発信器の故障や発信器を付けていない車両をチェックすることはできません。

■レース前センサチェック

レース直前に通過センサが正常に動作しているか確認を行います。

■プリンタ初期値

車両の通過情報をジャーナルプリンタに印刷するかどうかを設定します。
レース直前、レース中にも変更が可能です。

■ピット使用初期値

ピットゲート指定で指定したゲートセンサをピットゲートのセンサとして認識するかどうかを設定します。
レース直前、レース中にも変更が可能です。

変更した内容を保存するときは【終了】をクリックして下さい。変更した内容を保存しないときは【中止】をクリックして下さい。

7. リザルトプログラム

計時プログラムによって計時された結果を画面に表示したり、プリンタで印刷したりします。

7.1 起動と終了



デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックしてリザルトプログラムを起動して下さい。

起動すると、下記のメニューが表示されます。



図7.1 メニュー

サーバー機の電源が入っていないなどの理由でサーバーにアクセスできない場合は、メッセージが表示されます。この場合、サーバーの電源投入からやり直してください。



図7.2 メッセージ

リザルトプラグラムを終了する時は、メニューの【終了】をクリックして下さい。

7.2 大会選択

(1) 大会選択

メニューの【大会選択】をクリックすると大会選択画面が表示されます。

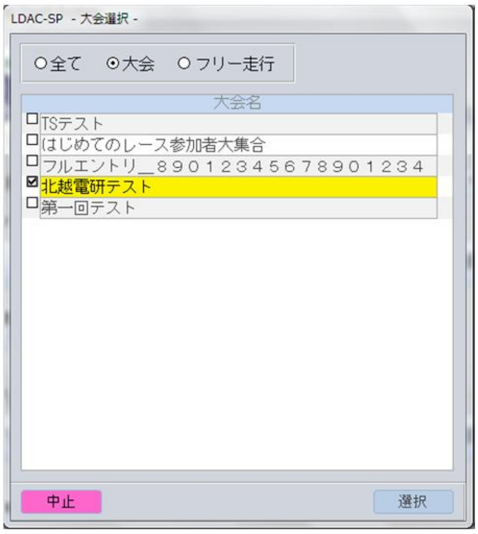


図7.3 大会選択

大会名をクリックすると選択されたグループの背景が黄色で表示されます。このままダブルクリックするか、【選択】をクリックして下さい。

大会選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

上部のラジオボタンにより、大会/フリー走行を絞り込むことができます。

大会が選択されると、それ以降の作業はすべて選択された大会が対象となります。

別の大会のデータを編集するときは再度、大会を選択して下さい。

7.3 リザルト編集

走行済みのレース(フリー走行)結果を表示します。結果の印刷、競技者への罰則入力などを行います。
複数ヒートのデータをまとめて処理することも可能です。

メニューの【リザルト編集】をクリックするとグループ選択画面が表示されます。大会が選択されていな状態で【リザルト編集】をクリックすると大会選択画面が表示されます。(7.2 大会選択 参照)

(1) グループ選択

大会が選択されるとグループ選択画面が表示されます。

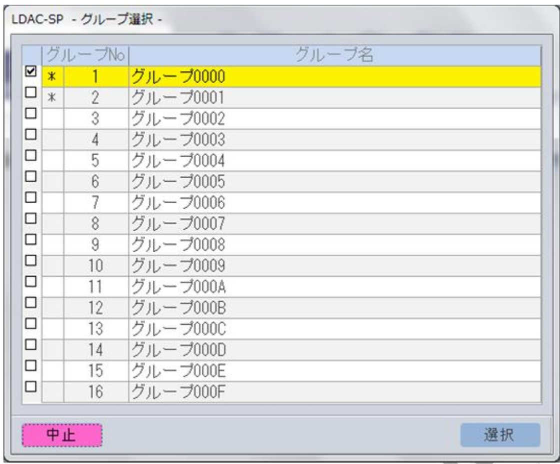


図7.4 グループ選択

グループ名をクリックすると選択されたグループの背景が黄色で表示されます。このままダブルクリックするか、【選択】をクリックして下さい。

左端に*マークの付いたグループは競技者・発信器組合わせデータが存在するグループです。

グループ選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

フリー走行が選択されたときは 7.3(3) ヒート情報変更 を参照して下さい。

(2) ヒート選択

グループが選択されるとヒート選択画面が表示されます。

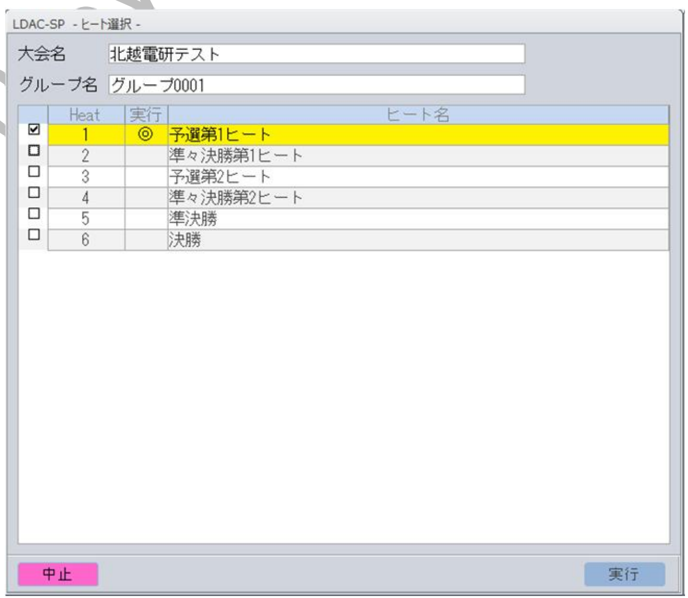


図7.5 ヒート選択

ヒート名をクリックすると選択されたヒートの背景が黄色で表示されますので、【実行】をクリックして下さい。

走行欄に◎マークの付いたヒートは走行済みヒートです。複数ヒートのデータを一緒にリザルト処理する場合は複数ヒートを選択して下さい。

ヒート選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(3) ヒート情報変更

ヒートが選択されるとヒート情報変更画面が表示されます。



図 7.6 ヒート情報変更

■大会名

5.3(1) 大会登録で登録した大会名、6.3(1) フリー走行名入力で入力したフリー走行名を変更することができます。

■ヒート名

競技者組合せ登録で登録したヒート名を修正することができます。
フリー走行選択時は表示されません。

■天候

晴れ、曇り、雨の中から選択してください。直接入力することも可能です。

■コース状況

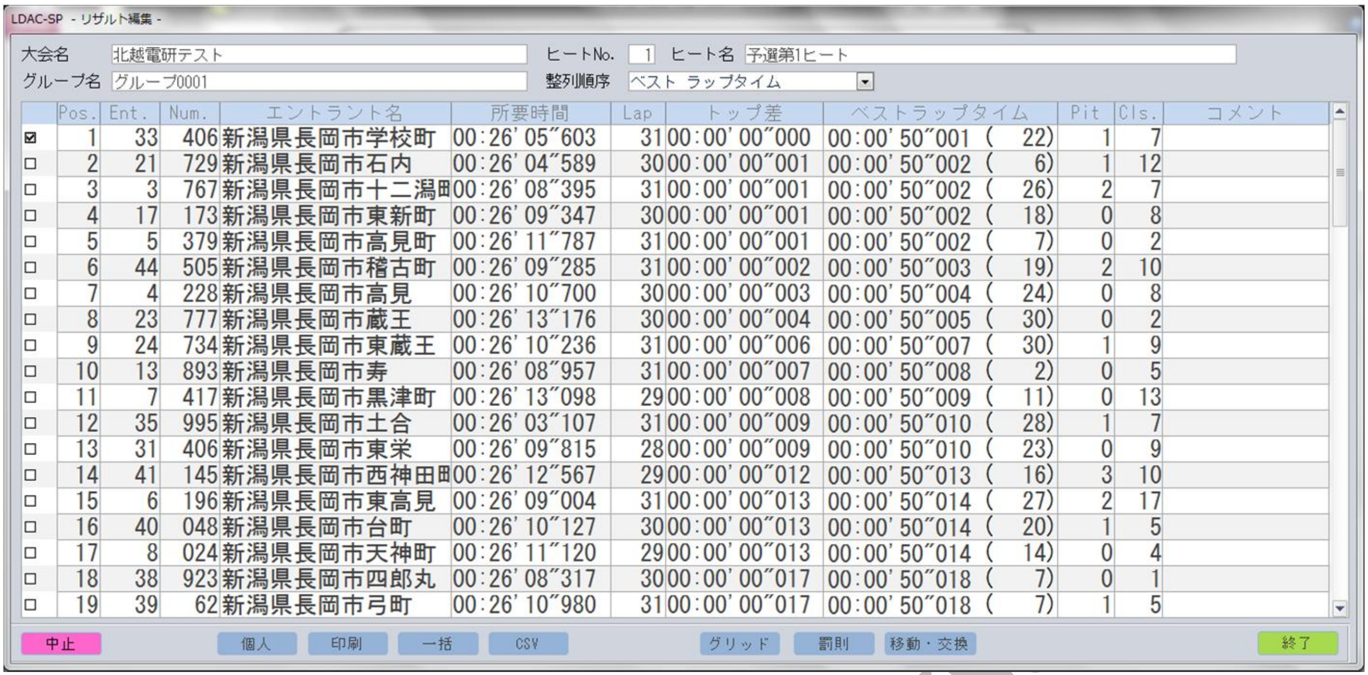
ドライ、ハーフウェット、ウェットの中から選択してください。直接入力することも可能です。

各情報の文字数の制限は下記のとおりです。

大会名	全角文字で最大24文字(半角48文字)
ヒート名	全角文字で最大30文字(半角60文字)
天候	全角文字で最大10文字(半角20文字)
コース状況	全角文字で最大10文字(半角20文字)

【実行】をクリックするとリザルト編集画面が表示されます。リザルト編集を中止するときは【中止】をクリックして下さい。

(4) リザルト編集



LDAC-SP - リザルト編集 -

大会名 北越電研テスト　ヒートNo. 1　ヒート名 予選第1ヒート

グループ名 グループ0001　整列順序 ベスト ラップタイム

	Pos.	Ent.	Num.	エントラント名	所要時間	Lap	トップ差	ベストラップタイム	Pit	Cls.	コメント
☑	1	33	406	新潟県長岡市学校町	00:26’05″603	31	00:00’00″000	00:00’50″001 (22)	1	7	
☐	2	21	729	新潟県長岡市石内	00:26’04″589	30	00:00’00″001	00:00’50″002 (6)	1	12	
☐	3	3	767	新潟県長岡市十二潟町	00:26’08″395	31	00:00’00″001	00:00’50″002 (26)	2	7	
☐	4	17	173	新潟県長岡市東新町	00:26’09″347	30	00:00’00″001	00:00’50″002 (18)	0	8	
☐	5	5	379	新潟県長岡市高見町	00:26’11″787	31	00:00’00″001	00:00’50″002 (7)	0	2	
☐	6	44	505	新潟県長岡市稽古町	00:26’09″285	31	00:00’00″002	00:00’50″003 (19)	2	10	
☐	7	4	228	新潟県長岡市高見	00:26’10″700	30	00:00’00″003	00:00’50″004 (24)	0	8	
☐	8	23	777	新潟県長岡市蔵王	00:26’13″176	30	00:00’00″004	00:00’50″005 (30)	0	2	
☐	9	24	734	新潟県長岡市東蔵王	00:26’10″236	31	00:00’00″006	00:00’50″007 (30)	1	9	
☐	10	13	893	新潟県長岡市寿	00:26’08″957	31	00:00’00″007	00:00’50″008 (2)	0	5	
☐	11	7	417	新潟県長岡市黒津町	00:26’13″098	29	00:00’00″008	00:00’50″009 (11)	0	13	
☐	12	35	995	新潟県長岡市土合	00:26’03″107	31	00:00’00″009	00:00’50″010 (28)	1	7	
☐	13	31	406	新潟県長岡市東栄	00:26’09″815	28	00:00’00″009	00:00’50″010 (23)	0	9	
☐	14	41	145	新潟県長岡市西神田町	00:26’12″567	29	00:00’00″012	00:00’50″013 (16)	3	10	
☐	15	6	196	新潟県長岡市東高見	00:26’09″004	31	00:00’00″013	00:00’50″014 (27)	2	17	
☐	16	40	048	新潟県長岡市台町	00:26’10″127	30	00:00’00″013	00:00’50″014 (20)	1	5	
☐	17	8	024	新潟県長岡市天神町	00:26’11″120	29	00:00’00″013	00:00’50″014 (14)	0	4	
☐	18	38	923	新潟県長岡市四郎丸	00:26’08″317	30	00:00’00″017	00:00’50″018 (7)	0	1	
☐	19	39	62	新潟県長岡市弓町	00:26’10″980	31	00:00’00″017	00:00’50″018 (7)	1	5	

中止　個人　印刷　一括　CSV　グリッド　罰則　移動・交換　終了

図7.7 リザルト編集 ベストラップ順



LDAC-SP - リザルト編集 -

大会名 北越電研テスト　ヒートNo. 1　ヒート名 予選第1ヒート

グループ名 グループ0001　整列順序 周回数

	Pos.	Ent.	Num.	エントラント名	所要時間	Lap	トップ差	ベストラップタイム	Pit	Cls.	コメント
☐	1	35	995	新潟県長岡市土合	00:26’03″107	31	0周	00:00’50″010 (28)	1	7	
☐	2	30	896	新潟県長岡市愛宕	00:26’04″386	31	0周	00:00’50″023 (23)	1	4	
☐	3	19	543	新潟県長岡市西新町	00:26’04″901	31	0周	00:00’50″032 (22)	1	11	
☑	4	33	406	新潟県長岡市学校町	00:26’05″603	31	0周	00:00’50″001 (22)	1	7	
☐	5	36	424	新潟県長岡市住吉	00:26’06″976	31	0周	00:00’50″029 (27)	1	11	
☐	6	29	134	新潟県長岡市東神田	00:26’07″303	31	0周	00:00’50″030 (25)	1	4	
☐	7	14	598	新潟県長岡市宝	00:26’07″896	31	0周	00:00’50″049 (2)	2	14	

図7.8 リザルト編集 周回順



LDAC-SP - リザルト編集 -

大会名 北越電研テスト　ヒートNo. 1　ヒート名 予選第1ヒート

グループ名 グループ0001　整列順序 クラス・ベスト ラップタイム

	Pos.	Ent.	Num.	エントラント名	所要時間	Lap	トップ差	ベストラップタイム	Pit	Cls.	コメント
☐	1	38	923	新潟県長岡市四郎丸	00:26’08″317	30	00:00’00″017	00:00’50″018 (7)	0	1	
☐	2	10	587	新潟県長岡市下々条	00:26’09″799	31	00:00’00″044	00:00’50″045 (3)	1	1	
☐	3	46	737	新潟県長岡市呉服町	未走行	0		(0)	0	1	
☐	4	67	413	新潟県長岡市柏町	未走行	0		(0)	0	1	
☐	5	5	379	新潟県長岡市高見町	00:26’11″787	31	00:00’00″001	00:00’50″002 (7)	0	2	
☐	6	23	777	新潟県長岡市蔵王	00:26’13″176	30	00:00’00″004	00:00’50″005 (30)	0	2	
☐	7	9	698	新潟県長岡市下々条町	00:26’20″227	31	00:00’00″115	00:00’50″116 (18)	0	2	

図7.9 リザルト編集 クラス・ベストラップ順



LDAC-SP - リザルト編集 -

大会名 北越電研テスト　ヒートNo. 1　ヒート名 予選第1ヒート

グループ名 グループ0001　整列順序 クラス・周回数

	Pos.	Ent.	Num.	エントラント名	所要時間	Lap	トップ差	ベストラップタイム	Pit	Cls.	コメント
☐	1	10	587	新潟県長岡市下々条	00:26’09″799	31	0周	00:00’50″045 (3)	1	1	
☐	2	38	923	新潟県長岡市四郎丸	00:26’08″317	30	1周	00:00’50″018 (7)	0	1	
☐	3	46	737	新潟県長岡市呉服町	未走行	0		(0)	0	1	
☐	4	67	413	新潟県長岡市柏町	未走行	0		(0)	0	1	
☐	5	5	379	新潟県長岡市高見町	00:26’11″787	31	0周	00:00’50″002 (7)	0	2	
☐	6	9	698	新潟県長岡市下々条町	00:26’20″227	31	0周	00:00’50″116 (18)	0	2	
☐	7	23	777	新潟県長岡市蔵王	00:26’13″176	30	1周	00:00’50″005 (30)	0	2	

図7.10 リザルト編集 クラス・周回順

表示項目は左から順に、順位、エントリNo.、ゼッケンNo.、エントラント名、所要時間、周回数、トップとの差、ベストラップタイム(ベストラップタイムの周回)、ピット回数、クラスNo.、コメントです。

複数ヒートが選択されている場合、同一競技者のデータは合算されます。

フリー走行が選択されているときはエントリNo.、ゼッケンNo.に発信器No.が表示されます。また、エントラント名は空欄となります。

左端のチェックボックスは個人印刷や罰則入力で使用します。

罰則が適用されるとチェックボックスの隣に*マークが表示されます。

■整列順序

ドロップダウンリストボックスでリザルトデータの整列順序を設定します。ベストラップ順、周回順、クラス別ベストラップ順、クラス別周回順が選択可能です。

■一括

全てのデータを競技者ごとに一括印刷します。

リザルト編集を終了するときは【終了】をクリックします。

リザルト編集を中止するときは【中止】をクリックします。編集結果は保存されません。

(5) 個人

リザルト編集画面において左端のチェックボックスで競技者を選択して、【個人】をクリックすると競技者の全ラップタイムが表示されます。

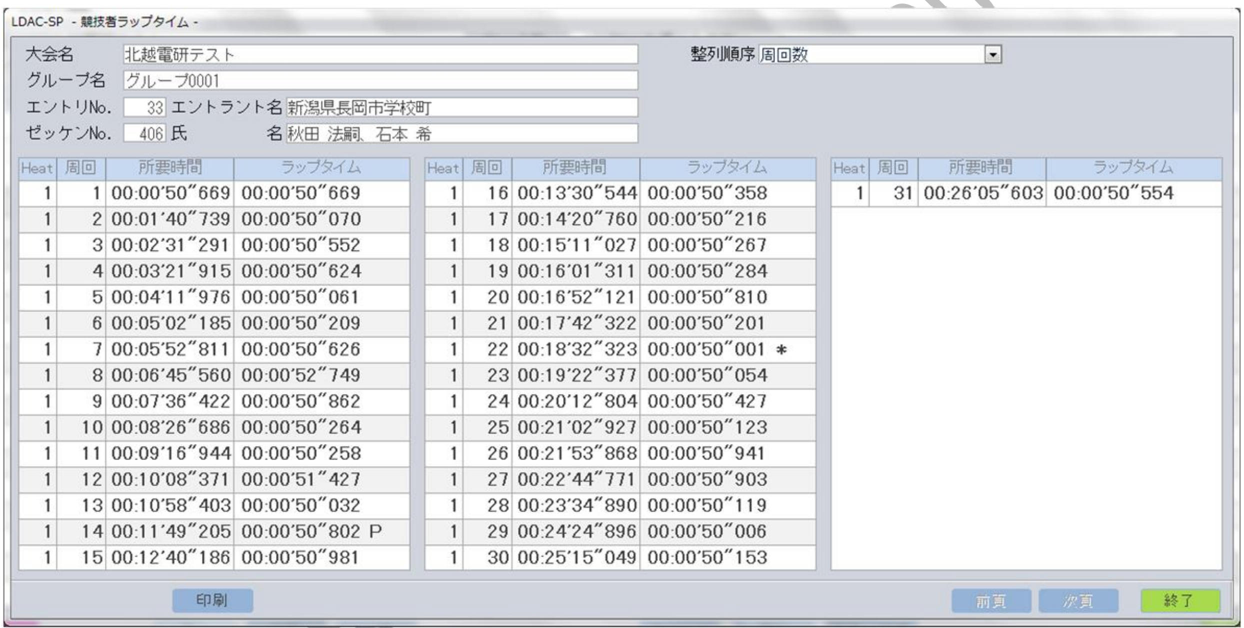


図7.11 競技者ラップタイム

ラップタイム右側の*マークはそのヒートでのベストラップタイムです。ラップタイム右側のPマークはピットインを表しています。

複数ヒートが選択されている場合は、整列順序を選択することはできません。ヒート毎の周回順表示となります。

■整列順序

ドロップダウンリストボックスで競技者データの整列順序を設定します。周回順、ベストラップ順が選択可能です。

■印刷

表示されている整列順序で競技者データを印刷します。

■前頁

データが1画面に収まらないときに前のデータに移動します。

■次頁

データが1画面に収まらないときに次のデータに移動します。

終了する時は【終了】をクリックして下さい。

(6) 印刷

リザルトデータを印刷します。
リザルト編集画面において【印刷】をクリックすると印刷形式を選択するダイアログが表示されます。

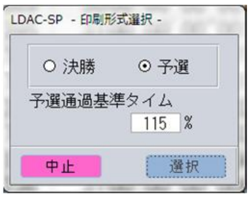


図7.12 印刷形式選択

印刷は表示されている整列順序(ベストラップ順、周回順、クラス別ベストラップ順、クラス別周回順)で行われます。
決勝形式/予選形式のどちらかを選択して、【選択】をクリックして下さい。印刷を中止する時は【中止】をクリックして下さい。
ベストラップ順で表示されている状態から予選形式を選択した場合、予選通過基準タイムを設定することができます(100～120%)。これにより帳票に予選通過ラインが印刷されます。

(7) グリッド

グリッドを印刷します。
リザルト編集画面において【グリッド】をクリックすると印刷形式を選択するダイアログが表示されます。



図7.13 グリッド選択

印刷は表示されている整列順序(ベストラップ順、周回順、クラス別ベストラップ順、クラス別周回順)で行われます。
2輪形式/4輪形式/モト1/耐久のどれかを選択して下さい。
グリッド枠を印刷する台数を入力してください。
【選択】をクリックすると印刷を開始します。印刷を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(8) CSV

レース結果のデータをCSVフォーマットで出力します。
リザルト編集画面において【CSV】をクリックすると出力形式を選択するダイアログが表示されます。



図 7.14 出力形式選択

表示されている整列順序(ベストラップ順、周回順、クラス別ベストラップ順、クラス別周回順)でCSVデータを出力します。
決勝形式/予選形式のどちらかを選択して、【選択】をクリックして下さい。印刷を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

確認メッセージが表示されますので【はい】をクリックして下さい。

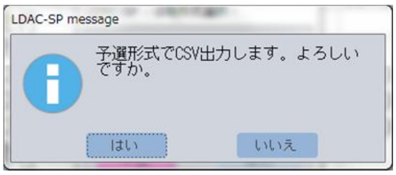


図 7.15 確認メッセージ

名前を付けて保存ダイアログが表示されますので分かり易い名前を付けて【保存】をクリックして下さい。

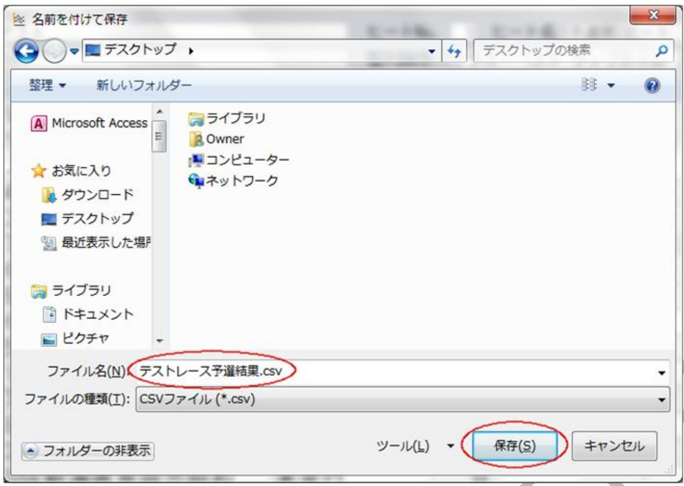


図 7.16 名前を付けて保存

保存が完了するとメッセージが表示されます。



図 7.17 確認メッセージ

(9) 罰則

競技者に対して罰則を与えることができます。
リザルト編集画面において左端のチェックボックスで競技者を選択して、【罰則】をクリックすると罰則入力画面が表示されます。
複数ヒートが選択されているときはこの機能は無効です。



図7.18 罰則入力

■所要時間
所要時間に任意の時間を加算/減算します。数値を0にすれば罰則は無くなります。

■トータル周回数

周回数に任意の周回を加算/減算します。数値を0にすれば罰則は無くなります。

■最短ラップ時間

ベストラップタイムに任意の時間を加算/減算します。数値を0にすれば罰則は無くなります。

■コメント

罰則理由などのコメントを入力できます。

各情報の文字数の制限は下記のとおりです。

所要時間	00:00'00"001～23:59'59"999
トータル周回数	1～999
最短ラップ時間	00:00'00"001～23:59'59"999
コメント	全角文字で最大10文字(半角20文字)

罰則入力を中止するときは【中止】をクリックして下さい。【設定】をクリックすると罰則が適用されます。

(10) 移動・交換

表示順番を変更するために、競技者の移動・交換を行います。
リザルト編集画面において【移動・交換】をクリックすると、移動・交換画面が表示されます。

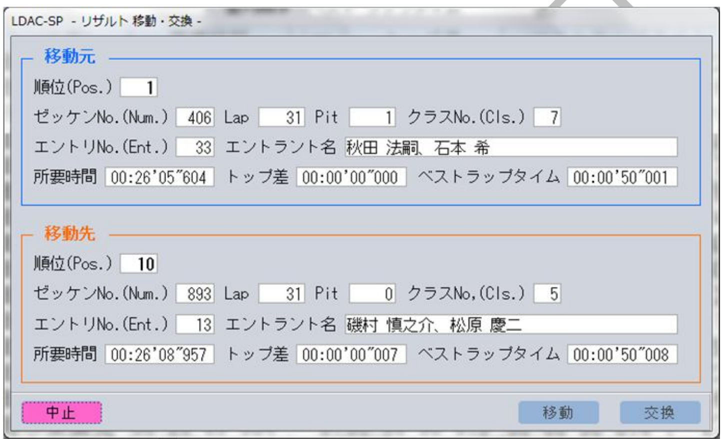


図7.19 移動・交換

順位欄に該当する順位を入力して下さい。該当する競技者が存在する場合、競技者の情報が表示されます。
移動・交換を中止するときは【中止】をクリックして下さい。

■移動

移動元の順位のデータをを移動先の順位へ移動します。移動元、移動先の順位に該当するデータが存在する必要があります。移動元の後ろの競技者は前詰めされます。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		...		248	249	250
ゼッケンNo.	406	729	767	173	379	505	228	777	734	893	417						

1位を10位へ移動　↓

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		...		248	249	250
ゼッケンNo.	729	767	173	379	505	228	777	734	893	406	417						

■交換

交換元の順位のデータと交換先の順位のデータを交換します。交換元、交換元ともに該当するデータが存在する必要があります。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		...		248	249	250
ゼッケンNo.	406	729	767	173	379	505	228	777	734	893	417						

1位を10位へ移動　↓

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		...		248	249	250
ゼッケンNo.	893	729	767	173	379	505	228	777	734	406	417						

7.4 リザルト自動表示

走行済みのレース結果を表示します。データの編集、印刷はできません。ピットモニタへ結果を表示するときに使用します。

フリー走行が選択されているときはこの機能は使用できません。

メニューの【リザルト自動表示】をクリックするとグループ選択画面が表示されます。大会が選択されていない状態で【リザルト自動表示】をクリックすると大会選択画面が表示されます。(7.2 大会選択 参照)

(1) グループ選択

大会が選択されるとグループ選択画面が表示されます。



図7.20 グループ選択

グループ名をクリックすると選択されたグループの背景が黄色で表示されます。このままダブルクリックするか、【選択】をクリックして下さい。

左端に*マークの付いたグループは競技者・発信器組合わせデータが存在するグループです。

グループ選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

(2) ヒート選択

グループが選択されるとヒート選択画面が表示されます。

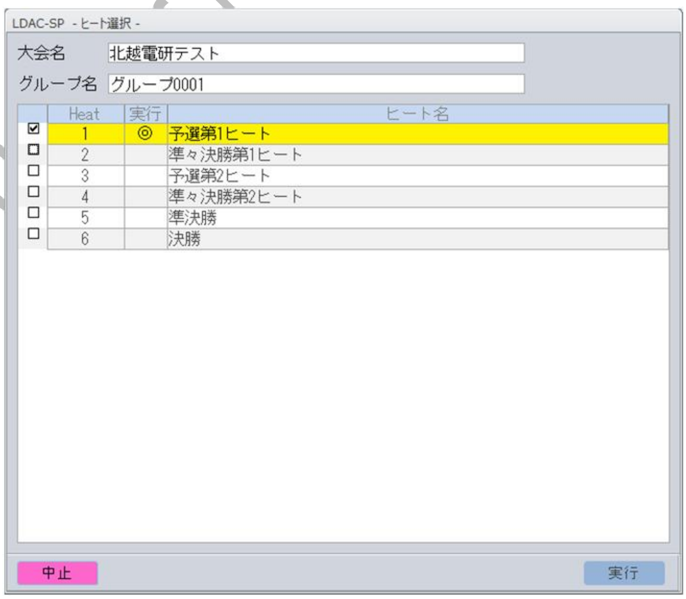


図7.21 ヒート選択

ヒート名をクリックすると選択されたヒートの背景が黄色で表示されますので、【実行】をクリックして下さい。

走行欄に◎マークの付いたヒートは走行済みヒートです。走行済みでないヒートを選択することはできません。

ヒートは1つしか選択できません。

ヒート選択を中止する時は【中止】をクリックして下さい。

【実行】がクリックされるとヒート情報変更画面が表示されますが、変更はできません。

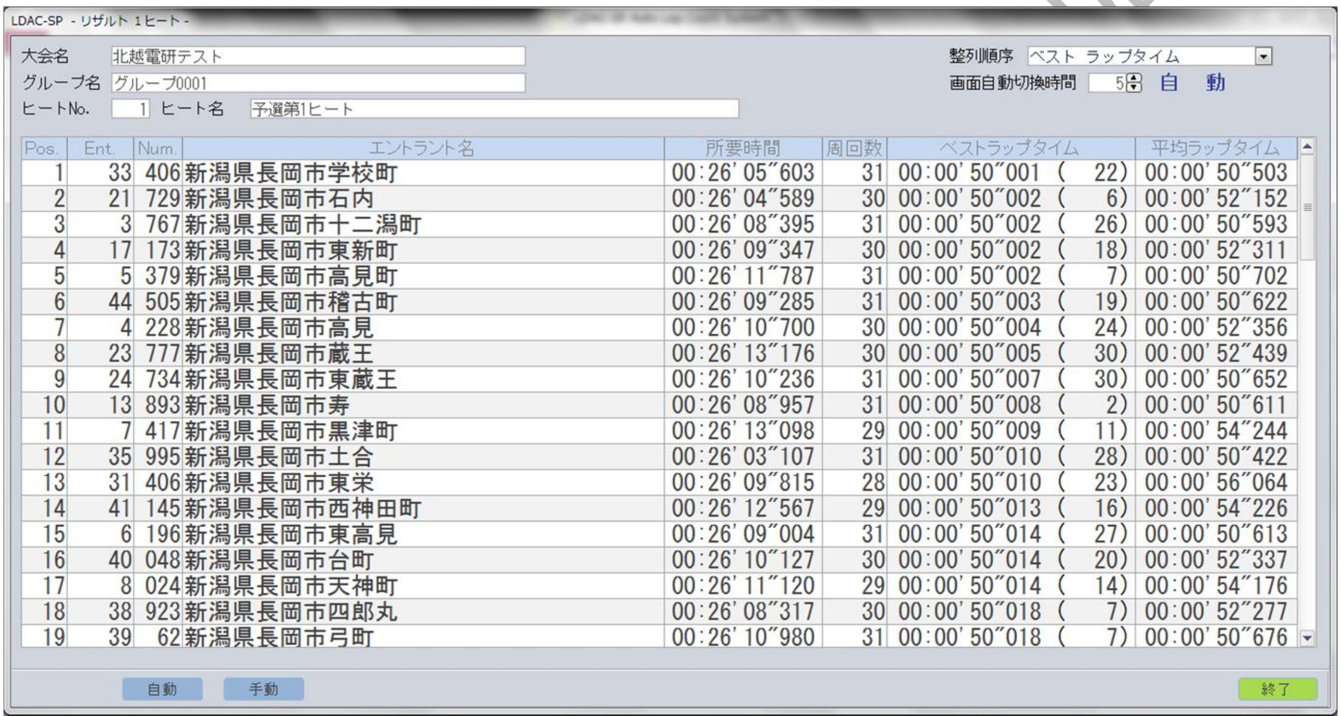


図7.22 ヒート情報変更

【中止】または【実行】をクリックして下さい。

(3) リザルト自動表示

ヒート情報変更画面で【実行】をクリックするとリザルト自動表画面が表示されます。



Pos.	Ent.	Num.	エントラント名	所要時間	周回数	ベストラップタイム	平均ラップタイム
1	33	406	新潟県長岡市学校町	00:26’05″603	31	00:00’50″001 (22)	00:00’50″503
2	21	729	新潟県長岡市石内	00:26’04″589	30	00:00’50″002 (6)	00:00’52″152
3	3	767	新潟県長岡市十二潟町	00:26’08″395	31	00:00’50″002 (26)	00:00’50″593
4	17	173	新潟県長岡市東新町	00:26’09″347	30	00:00’50″002 (18)	00:00’52″311
5	5	379	新潟県長岡市高見町	00:26’11″787	31	00:00’50″002 (7)	00:00’50″702
6	44	505	新潟県長岡市稽古町	00:26’09″285	31	00:00’50″003 (19)	00:00’50″622
7	4	228	新潟県長岡市高見	00:26’10″700	30	00:00’50″004 (24)	00:00’52″356
8	23	777	新潟県長岡市蔵王	00:26’13″176	30	00:00’50″005 (30)	00:00’52″439
9	24	734	新潟県長岡市東蔵王	00:26’10″236	31	00:00’50″007 (30)	00:00’50″652
10	13	893	新潟県長岡市寿	00:26’08″957	31	00:00’50″008 (2)	00:00’50″611
11	7	417	新潟県長岡市黒津町	00:26’13″098	29	00:00’50″009 (11)	00:00’54″244
12	35	995	新潟県長岡市土合	00:26’03″107	31	00:00’50″010 (28)	00:00’50″422
13	31	406	新潟県長岡市東栄	00:26’09″815	28	00:00’50″010 (23)	00:00’56″064
14	41	145	新潟県長岡市西神田町	00:26’12″567	29	00:00’50″013 (16)	00:00’54″226
15	6	196	新潟県長岡市東高見	00:26’09″004	31	00:00’50″014 (27)	00:00’50″613
16	40	048	新潟県長岡市台町	00:26’10″127	30	00:00’50″014 (20)	00:00’52″337
17	8	024	新潟県長岡市天神町	00:26’11″120	29	00:00’50″014 (14)	00:00’54″176
18	38	923	新潟県長岡市四郎丸	00:26’08″317	30	00:00’50″018 (7)	00:00’52″277
19	39	62	新潟県長岡市弓町	00:26’10″980	31	00:00’50″018 (7)	00:00’50″676

図7.23 リザルト自動表示 ベストラップ順

■自動 / 手動 / 画面自動切替時間

走行台数が1画面に収まらないとき、画面自動切替時間で設定された時間毎に、画面が自動的にスクロールします。【自動】、【手動】をクリックすると『自動』/『手動』が切り替わります。

『自動』/『手動』にかかわらず、スクロールバーは有効です。

■整列順序

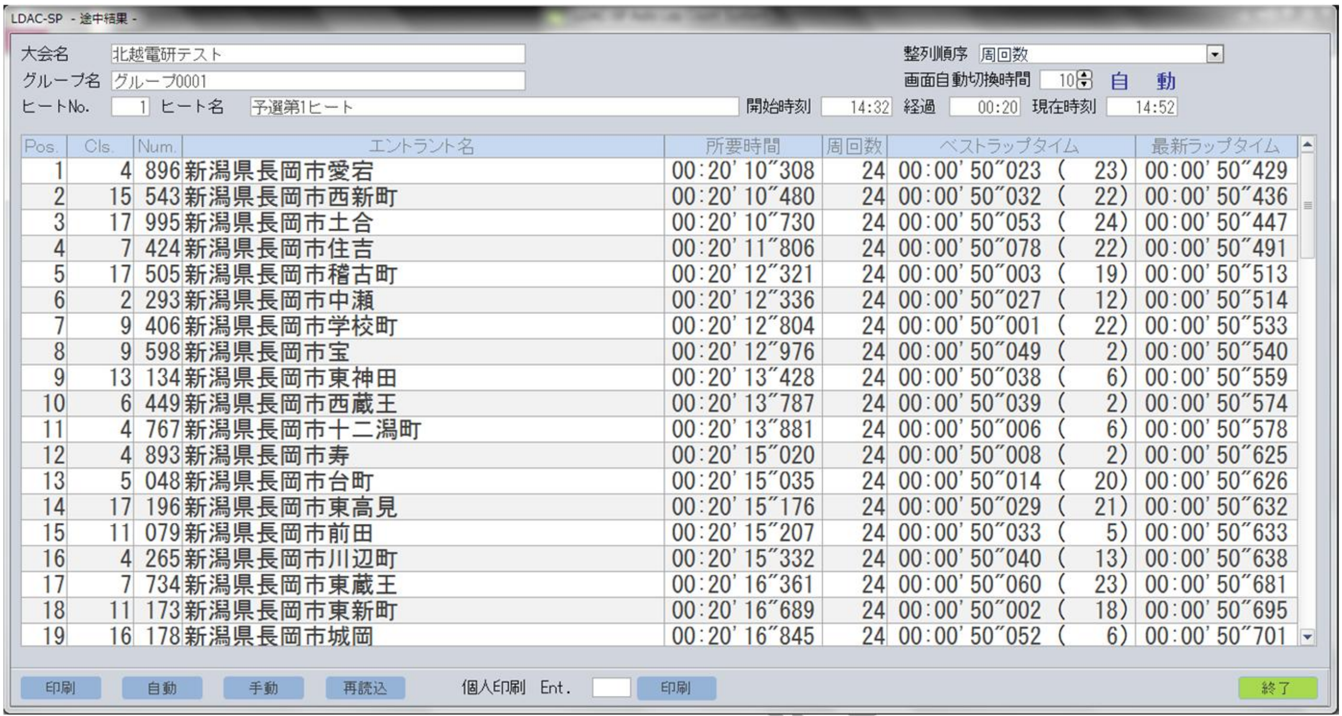
ドロップダウンリストボックスでリザルト自動表示の整列順序を設定します。ベストラップ順、周回順、クラス別ベストラップ順、クラス別周回順が選択可能です。

リザルト自動表示を終了するときは【終了】をクリックして下さい。

7.5 レース途中結果

(1) レース途中結果

現在計時中のレース(フリー走行)の情報を表示します。



Pos.	Cls.	Num.	エントラント名	所要時間	周回数	ベストラップタイム	最新ラップタイム
1	4	896	新潟県長岡市愛宕	00:20' 10"308	24	00:00' 50"023 (23)	00:00' 50"429
2	15	543	新潟県長岡市西新町	00:20' 10"480	24	00:00' 50"032 (22)	00:00' 50"436
3	17	995	新潟県長岡市土合	00:20' 10"730	24	00:00' 50"053 (24)	00:00' 50"447
4	7	424	新潟県長岡市住吉	00:20' 11"806	24	00:00' 50"078 (22)	00:00' 50"491
5	17	505	新潟県長岡市稽古町	00:20' 12"321	24	00:00' 50"003 (19)	00:00' 50"513
6	2	293	新潟県長岡市中瀬	00:20' 12"336	24	00:00' 50"027 (12)	00:00' 50"514
7	9	406	新潟県長岡市学校町	00:20' 12"804	24	00:00' 50"001 (22)	00:00' 50"533
8	9	598	新潟県長岡市宝	00:20' 12"976	24	00:00' 50"049 (2)	00:00' 50"540
9	13	134	新潟県長岡市東神田	00:20' 13"428	24	00:00' 50"038 (6)	00:00' 50"559
10	6	449	新潟県長岡市西蔵王	00:20' 13"787	24	00:00' 50"039 (2)	00:00' 50"574
11	4	767	新潟県長岡市十二潟町	00:20' 13"881	24	00:00' 50"006 (6)	00:00' 50"578
12	4	893	新潟県長岡市寿	00:20' 15"020	24	00:00' 50"008 (2)	00:00' 50"625
13	5	048	新潟県長岡市台町	00:20' 15"035	24	00:00' 50"014 (20)	00:00' 50"626
14	17	196	新潟県長岡市東高見	00:20' 15"176	24	00:00' 50"029 (21)	00:00' 50"632
15	11	079	新潟県長岡市前田	00:20' 15"207	24	00:00' 50"033 (5)	00:00' 50"633
16	4	265	新潟県長岡市川辺町	00:20' 15"332	24	00:00' 50"040 (13)	00:00' 50"638
17	7	734	新潟県長岡市東蔵王	00:20' 16"361	24	00:00' 50"060 (23)	00:00' 50"681
18	11	173	新潟県長岡市東新町	00:20' 16"689	24	00:00' 50"002 (18)	00:00' 50"695
19	16	178	新潟県長岡市城岡	00:20' 16"845	24	00:00' 50"052 (6)	00:00' 50"701

図7.24 レース途中結果

■自動 / 手動 / 画面自動切替時間

走行台数が1画面に収まらないとき、画面自動切替時間で設定された時間毎に、画面が自動的にスクロールします。【自動】、【手動】をクリックすると『自動』/『手動』が切り替わります。

『自動』/『手動』にかかわらず、スクロールバーは有効です。

また、『自動』に設定すると画面自動切替時間で設定された時間毎にサーバーから最新の計時データを再読込みします。

■整列順序

ドロップダウンリストボックスでリザルト自動表示の整列順序を設定します。ベストラップ順、周回順、クラス別ベストラップ順、クラス別周回順が選択可能です。

■再読込

【再読込】をクリックするたびにサーバーから最新の計時データを読み込んでデータを更新します。

■個人印刷

現在までの競技者個人のデータを印刷します。

エントリNo.を入力してから【印刷】をクリックして下さい。

レース途中結果を終了するときは【終了】をクリックして下さい。

(2) 印刷

レース途中結果を印刷します。
レース途中結果画面において【印刷】をクリックすると印刷形式を選択するダイアログが表示されます。



図7.25 印刷形式選択

印刷は表示されている整列順序(ベストラップ順、周回順、クラス別ベストラップ順、クラス別周回順)で行われます。
決勝形式/予選形式のどちらかを選択して、【選択】をクリックして下さい。印刷を中止する時は【中止】をクリックして下さい。
ベストラップ順で表示されている状態から予選形式を選択した場合、予選通過基準タイムを設定することができます(100～120%)。これにより帳票に予選通過ラインが印刷されます。

8. 「故障かな」と思ったら

(1) 発信器を充電してもすぐに発信が止まる

原因：
発信器内部のバッテリーに寿命がきている可能性があります。
対策：
新しい発信器か別の発信器(同一番号)と交換して下さい。

(2) レースが開始できない

原因：
①無停電電源は電源はONしていますか?
②コントロールBOXの電源(サーキットプロテクタ)はONしていますか?
③卓上操作器の電源(サーキットプロテクタ)はONしていますか?
④コントロールBOXと卓上操作器の通信ケーブルは接続されていますか?
⑤リモートコントロールBOXと卓上操作器のケーブルは接続されていますか?
⑥計時機本体裏の入出力ボードのケーブルが卓上操作器と接続されていますか?
⑦*LDAC-SP* システムの計時プログラムは起動していますか?(レース待機画面になっていますか?)
対策：
①無停電電源の電源をONして下さい。
②③各制御機器の電源(サーキットプロテクタ)をONして下さい。
④⑤⑥各制御機器間の配線を確認して、ケーブル等を正しく接続して下さい。
⑦*LDAC-SP* システム計時プログラムを起動し、レース待機画面にして下さい。

(3) レース開始時に通過センサが正常に動作しない

原因：
①コントロールBOX内の電源(サーキットプロテクタ)はONしていますか?
②コントロールBOX内の通過センサのケーブルは正しく接続されていますか?
③通過センサの光軸は狂っていませんか?
対策：
①コントロールBOX内の電源(サーキットプロテクタ)をONして下さい。
②通過センサのケーブルを正しく接続して下さい。
③通過センサの光軸調整を行って下さい。
上記①～③を確認しても正常に動作しない場合は、通過センサの故障が考えられます。メーカーまでお問い合わせ下さい。

(4) 車両の通過時間が得られない

原因：
①通過センサ、ゲートセンサを遮る物はありませんか?
②コントロールBOX内の通過センサ、ゲートセンサのケーブルは正しく接続されていますか?
③発信器は十分に充電されていますか?
④発信器は車両に正しく取り付けられていますか?
⑤計時プログラムのシステム設定で最短ラップ時間は正しく設定されていますか?
対策：
①通過センサ、ゲートセンサを遮る物を取り除いて下さい。
②通過センサ、ゲートセンサのケーブルを正しく接続して下さい。
③発信器に十分な充電をして下さい。
④発信器を車両に正しく取り付けて下さい。
⑤計時プログラムのシステム設定の最短ラップ時間に正しい数値を設定して下さい。

⑸ ピットの通過時間が得られない

原因：

①計時システム設定のピットのゲートセンサ番号は正しく設定されていますか？
②計時画面中の【ピット】が『使用する』になっていますか？

対策：

①計時システム設定の『ピットゲート番号指定』に正しいゲートセンサ番号を設定して下さい。
②計時画面の【ピット】を『使用する』に設定して下さい。

LDAC-SP 取扱説明書

株式会社 北越電研
〒940-1163　新潟県長岡市平島1-137
TEL:0258-23-1881
FAX:0258-23-2462
URL:http://www.hdnet.co.jp/